

第2回大阪市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会（中学校）第1地区部会 会議録

1 日 時 令和2年7月20日（月）13:00～18:00

2 会 場 大阪市教育センター 第5研修室

3 出席者

（委員）

深野委員、宮本委員、泉水委員、筋原委員、石川委員、三枝委員、山野委員

（事務局）

関谷次席指導主事、飽田総括指導主事、渡辺指導主事、大竹野指導主事

4 議 題

(1) 各調査会の報告及び質疑

5 議事録

【部会長】

定刻となりましたので、第2回選定委員会の第1地区部会を開催いたします。

委員の皆様におかれましては、ご多忙のところ、誠にありがとうございます。

本日の議題におきましては、お手元の次第のとおりでございまして、閉会は午後5時30分を予定しております。限られた時間でございますが、休憩を適宜挟みながら進めてまいりたいと考えております。

部会長といたしましては円滑な進行に努めてまいりますので、皆様におかれましては何卒ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

また、議事録を作成し、採択後に議事録を公表することになっておりますので、その点につきましてご了承いただけますよう、お願い申し上げます。

それでは、早速ではございますが、議事を進めてまいります。次第2の調査研究の経過について、事務局よりご説明申し上げます。

【事務局】

失礼いたします。第1教育ブロックグループの飽田でございます。よろしくお願いたします。

説明に先立ちまして、資料の確認をお願いいたします。

お手元には次第、配付資料一覧、資料1、資料2、資料3、資料4、資料5、資料6、資料7、参考として「定量的調査資料」と題する資料、またメモ用紙をお配りしております。また机上のほうに教科書の見本本を置いております。冊数に限りがございますので、お二人様で1冊ずつになっておりますことをご容赦ください。

資料の不足や落丁がございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、ご説明を申し上げます。お手元の資料1の令和3年度使用義務教育小学校教科用図書の採択について、をご覧ください。採択の手順のフローチャートについてでございます。

前回、6月2日の教科用図書選定委員会において、教育委員会から選定について諮問されました。これを受け、教科用図書選定委員会地区部会が採択地区ごとに専門調査会と学校調査会を設置し、両

調査会は6月8日から調査研究並びに選定資料の作成を進めてまいりました。

また、6月中旬頃から図書館、区役所の市内31か所で教科展示会を実施し、来場者からのアンケートを受け付けました。そちらの資料につきましては、皆様の後方の机の上にアンケート資料を置かせていただいていますので、またご参考に見ていただけたらと思います。

今回と次回の部会では、各調査会の調査研究の報告に基づき、調査研究を実施し、答申を作成することとしております。答申では1種目につき、優位性のある教科用図書2者ずつ上げることとなっております。さらに、その2者についてどちらが特に優位性があるか示すこととしております。

このことから、今回の部会では種目ごとに各調査会の調査結果を精査していただいた上で、優位性のある教科用図書がどれかを選定していただきたいと存じます。

この後に種目ごとの審議に移ってまいります。資料といたしましては、資料2の調査の観点、資料3の専門調査会調査結果、資料4の学校調査会調査集約結果を使用いたしますので、それらを見比べることができるようにお開きいただければと存じます。

まず、資料2の3ページをご覧ください。国語の調査の観点でございますが、前回の部会でご議決いただいた重点化した観点には番号に丸をしております。

次に、資料3、専門調査会報告書の1ページの国語をお開きください。1番目の総評欄には重点化した観点について、観点ごとに特に優れているのか、それとも特に工夫・配慮を要するのかといった評価を記載しております。説明では、特に優れているとする観点の数と特に工夫・配慮を要するとした観点の数をお伝えし、その数から発行者ごとの優位性をお示いたします。

なお、重点化した観点の数が同じ発行者については、その下の欄にあるほかの調査の観点も含んだ、特に優れている点と特に工夫・配慮を要する点の数もご説明し、どちらが特に優位性があるかをお示しするようにいたします。

次に、資料4の1ページをお開きください。各校に設置された学校調査会は調査の観点の項目、すなわち大阪市教育振興基本計画等との関連、内容の取扱い、その他の3つの項目ごとに、特に優れているとする観点と特に工夫・配慮を要するとする観点を、それぞれ2点以内で挙げるようになっております。

ただいま、ご覧いただいている資料は、各校の報告を集約したものでございまして、下から4行目の重点化した観点計や、その上の全観点計の数から発行者ごとの優位性が分かります。この資料も併せてご説明し、皆様には両調査会の結果は整合性が取れているかどうかを確認していただきます。

なお、資料5として、学校調査会が出したコメントの代表的なものを一覧にした資料を添えておりますので、ご審議において適宜ご参照ください。

皆様に発行者ごとの優位性をご確認いただいた後は、資料3について、時間の都合上、優位性のある2者に絞ってその内容をご説明し、評価の理由や根拠を精査していただきます。

評価の理由や根拠の記述に当たりましては、評価の理由についてその根拠となる箇所を示して明確に記述すること、根拠は特定の一部の事柄でなく、全体の傾向として見られる事柄とすること、そして、評価は発行者によって考え方が異なるように公平性を担保すること等に留意してまいりました。

委員の皆様には記述がそれらの留意事項を踏まえているかをご確認いただきたいと存じます。

このような流れで、16種目をご審議いただくこととしております。

なお、資料6として、教科書展示会で来場者から寄せられたアンケートの集計資料を添えておりますので、適宜ご参照ください。

その後、中高一貫校である咲くやこの花中学校の教科用図書についてご審議いただきます。同校はその特色や独自性を踏まえる必要なため、ほかの26校とは別に答申資料を取りまとめるものでございます。

委員の皆様におかれましては、長時間のご審議となりますが、よろしく願い申し上げます。
私からの説明は以上です。

【部会長】

ありがとうございました。

ただいまの説明につきましてご意見はございますでしょうか。

【委員】

第1教育ブロック会議では、今年度のブロック予算をどうするかということも含めて、いろいろと区担当教育次長と議論をしております。今後、第1ブロックのエリアの特色をどのように出していくかが非常に重要ということで、今年度はこれから、様々な分析、学力面はもちろんですが、例えば、産業面で第1ブロックのエリアは非常に盛んであるとか特色もありますので、そういった研究をブロック会議の中でもしていきます。今回はこういう形で進めていただくということですが、次回に向けてはブロックの特色にそれも盛り込んだ形で教科書の選定に資するようにブロック会議で研究を進めていきたいと思っていますので、またよろしく願いしたいと思います。

【部会長】

ありがとうございました。

今、筋原区長からもおっしゃっていただきましたように、今年度につきましては、前回のご説明にもあった、基礎・基本の定着などでこの地区には課題があるという特徴を踏まえて調査の観点を重点化していただいたところですが、さらに、詳細な分析を今後進めて、次の採択のときにどう生かしていくかというところは1つの課題であろうと思いますので、そこは引き続き調査研究を進めていくということになろうかと思えます。

今年度につきましては、前回、お決めいただいた重点化した観点を基づいてご審議をいただければと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

ほかに何かご質問、ご意見はございますでしょうか。

それでは、次第3の専門調査会及び学校調査会の結果報告に移ってまいります。議事の進行につきましては、冒頭申し上げましたように、午後5時半には閉じる予定としておりますので、種目ごとの審議時間はおよそ15分以内になろうかと思えます。事務局におかれましては、審議の時間を確保するために説明を手短にさせていただきますと共に、委員の皆様におかれましても円滑な進行にご協力をよろしくお願い申し上げます。

それでは、国語について事務局よりご説明願います。

【代表調査員】

失礼いたします。国語の専門調査会の代表調査員を務めます井高野中学校校長、池尻でございます。よろしく願いいたします。

それでは、まず資料2の3ページ、調査の観点の国語のページをご覧ください。国語の重点化した観点は番号に丸をした4点でございます。

次に、資料3の1ページ、専門調査会調査結果をご覧ください。国語の発行者は4者でございます。

それでは、資料に沿って順にご報告いたします。

まず東京書籍、東書というのが略称なんです、東京書籍の調査結果でございますが、総評欄の重

点化した観点4点のうち、特に優れている点は1の3、2の4の2点、特に工夫・配慮を要する点は2の2、3の6の2点といたしました。なお、東京書籍は今後デジタル教科書を発行する予定がございます。

2つ目は三省堂の調査結果でございます。三省堂は総評欄の重点化した観点4点のうち、特に優れている点は1の3、2の2、2の4、3の6の4点、特に工夫・配慮を要する点は見当たらないといたしました。なお、三省堂は今後デジタル教科書を発行する予定がございます。また、三省堂は本市で現在使用している発行者でございます。

3つ目の教育出版、略称は教出でございます。こちらのほう教出の調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点4点のうち、特に優れている点は2の2、2の4の2点、特に工夫・配慮を要する点は1の3、3の6の2点といたしました。なお、教育出版のほうも今後デジタル教科書を発行する予定がございます。

最後に4つ目の光村図書、光村の調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点4点のうち、特に優れている点は2の2、2の4、3の6の3点、特に工夫・配慮を要する点は1の3の1点といたしました。なお、光村図書は今後デジタル教科書を発行する予定がございます。

以上のことから、専門調査会としては優位性がある2者は特に優れている点が4点の三省堂と3点の光村であり、そのうち、特に優位性があるのは三省堂という結果となりました。

次に、資料4の1ページでございます。学校調査会集計結果の国語をご覧ください。

下から4行目の重点化した観点計でございますが、東京書籍は特に優れている点が19点、特に工夫・配慮を要する点は3点となっております。同様に三省堂は52点と1点となっております。また、教育出版は特に優れている点が14点、特に工夫・配慮を要する点が4点となっており、同様に光村は特に優れている点が32点、特に工夫・配慮を要する点は5点となっております。

以上のことから、学校調査会といたしましては、優位性がある2者は三省堂と光村図書であり、そのうち特に優位性があるのは三省堂という結果となっております。

両調査会の結果は一致してございます。

【部会長】

ありがとうございました。

ここで一旦、配付資料を見ていただきまして、確認してまいりたいと思います。資料3の総評欄に4点書いてあるのが重点化した観点の4点であるということ、特に優れている点は上に書いてあり、特に工夫・配慮を要する点というのが下のほうに書いてある。例えば、東京書籍だったら、特に優れている点は2点で特に工夫・配慮を要する点が2点という説明だったかと思います。三省堂が4つの点の全てが特に優れているということと、光村が特に優れている点が3つであったということで、専門調査会としては三省堂と光村が優れているというご判断がなされたということですね。

もう一方の資料4のほうでも、三省堂は特に優れている点が52点と光村が32点なので、専門調査会と学校調査会共に三省堂と光村が特に優れている点が多いということで一致をしているという説明であったと思います。

ただいまの説明も合わせて、ご質問なりご意見はございますでしょうか。

特になければ、この後の説明に移らせていただきたいと思いますが、その後のご説明としては、特に優位性があるとされた2者、三省堂と光村を中心にご覧いただくという形で進むと思います。その点はよろしゅうございませうか。

では、ご説明を事務局からお願いしたいと思います。

冒頭の説明にありましたように、教科書を適宜ご覧いただきながら説明を聴くということなんですけれども、お二人で1冊ということで申し訳ございませんが、その中でも三省堂、光村の教科書をご覧いただきながら説明をお聴きすることになるかと思しますので、代表調査員の先生におかれましては、例えば、何年生の教科書のどのページかということをお示しいただきながら、特徴をご説明していただければと思います。

それでは、よろしくお願いいたします。

【代表調査員】

続けさせていただきます。

それでは、まず資料3の2ページ、専門調査会報告書の三省堂のページに当たるとは思いますが、こちらのほうをご覧ください。

総評欄でございますが、三省堂の大きな特徴は2の2でございます。生徒の興味関心を引く教材、バリアフリー、共生社会など、これからの社会生活に必要なことを国語を通して学ぶように工夫されている点で優れていると評価しております。

特に、1年の40ページには、このように開くページがございます、ほぼ3ページ分を一度に見ることができますが、こちらのほうにはこの3ページの中に短い論説文があります。その読み方を示すことで、その後の数ページにわたる長い論説文を読む上で有効な資料となっております。不得意な部分への配慮・工夫がされていると思っております。

続きまして、専門調査会報告書の4ページをご覧ください。光村図書のページでございます。光村図書の大きな特徴でございますが、裏表紙のほうをご覧ください。こちらのほうに、QRコードがございます。スマートフォンやタブレット型パソコンなどでこのQRコードを読み取りますと、学習の内容を理解することに役立つ資料が表示されます。こちらのほう、三省堂のほうにはなかったと思うので、こういう工夫がされているところは光村のほうがよく工夫されているなと思います。

両者の評価の違いが見られるのは1の3でございます。三省堂には読み方を学ぼうというコーナーが6から8か所設けられております。生徒が学習の目当てを自ら持つことができ、主体的に取り組むことができるようになっております。各学年の巻末にはそれらをまとめて確認することができる一覧表もとじ込んであります。読み方を学ぼうの記述で、先ほどの40ページにて、短い論説文でその読み方を示し、その後の長い論説文を読む上で有効な資料となっております。

光村図書にも思考のレッスン、学習の窓というコーナーがございます。それらも一覧表にまとめられていますが、少し文字が多く情報過多で活用しづらいのではないかと考えております。また、三省堂のように、その後の教材に対する有効な資料となるような工夫は見られなかったです。また、光村図書においては、古文において読み仮名や現代仮名遣いの添え書きが少なく、生徒の主体的な学習に工夫が必要と考えております。

以上のことから、三省堂を特に優位性のある発行書といたしましたところでございます。

私からの説明は以上でございます。

【部会長】

ありがとうございます。

1の3の項目について、どの箇所が両者の教科書で大きな違いがあったのかですけど、三省堂の40ページの論説文の話は分かったんですけど、光村についてもおっしゃっておられたと思うんですがどの箇所でしょうか。

【代表調査員】

三省堂の最後のページです。裏表紙の前が各ページの一覧表になっています。読み方を学ぼうということで、左上から1、2、3、4、5、6、7、8とあります。

【部会長】

これが三省堂の読み方を学ぼうですね。もう1つの光村図書の学習の窓は活用しづらいということでしょうか。

【代表調査員】

三省堂のほうは、小さいほうが前の学年、大きい方がその学年になると思いますが、光村のほうは、2・3年生の266ページに学習のまとめの一覧が載っていますので、そこになると思います。

【部会長】

これが、三省堂のほうの文字が大きくて、光村のほうの小さいということでしょうか。

【代表調査員】

はい。少し細かいと思います。

【部会長】

ありがとうございました。

ただいまそれぞれの違いがみられる点について片方が優れてて、片方が工夫・配慮を要するというご説明をさせていただいたところでございます。

ただいまの説明につきまして、何か質問なり、ご意見がございますでしょうか。

【委員】

すみません、今、ご説明いただいた読み方を学ぼうと学習の窓の一覧のところを見ましても、おっしゃるように、三省堂のほうが見やすく分かりやすいかと思います。三省堂のほうは各学年、上に行くに従って、前の学年の分も全部載っているので、そういうことでいうと、振り返りとかというところからも学習しやすいという印象はありました。

【代表調査員】

ありがとうございます。

【部会長】

ありがとうございます。

ほかにご意見ありませんか。

【委員】

泉水です。よろしくお願ひします。光村さんのほうの教科書なんですけども、巻末に、裏表紙のほうにQRコードがついてあるということで、こちらのほうがあれば家庭での自主学習などでも効率よく学べると思います。このQRコードというのは実際には使えるものになるのでしょうか。

【代表調査員】

動画も再生され、子どもたちにとっては、振り返るにはいいと思います。ただ、学校では一斉にタブレット等でできるのでいいのですけれど、家でとなるとネット環境の違いなどが気になるところがございます。

【部会長】

ありがとうございます。

本市におきましては、今年度中に一人1台のノートパソコンが配置される予定となっております。そういったことを踏まえ来年度以降は活用できるようになっていくと考えられます。

ほかにご質問、ご意見はございますでしょうか。

【委員】

失礼します。現在、三省堂を使っているということなんですけども、実際に新しい検定教科書を見られて、ちょっとグレードアップしてるなとか、ステップアップしてるなというような感触はあったんでしょうか。何か具体的にあれば教えてください。

【代表調査員】

具体的な評価は聞いておりませんが、学校調査会の結果で断然トップの評価を得たということから、現場の先生方からしては非常に、ほかの会社に比べても違いは大きいかなというのがまず第一印象で、一番大きいところはそこだと思います。

【部会長】

ありがとうございます。

ほかにご質問はございますか。

【委員】

資料3のほうの三省堂のほうと、それから光村と比べたときのこの三省堂のほうなんですけど、特に工夫・配慮を要する点が少ないので、余計に気になるんですけど、この一番下の教科横断的な視点に立った構成、配列にやや課題が見られるというのは、どういった内容のことを示されているのでしょうか。

【代表調査員】

三省堂の2年の目次でございます。まず最初に小説が設定されていることがよくあることなんですけど、その後に短歌、そして枕草子、徒然草と、古典が前半に固まっております。その後に、論説文で共生社会とか文学などがありますが、少し前のほうに古典や伝統的なものが入っている点について、枕草子などはもう少し後ろに設定されていることが多いのですが、それはこちらが順番を生徒の実態等などに応じて入れ替えるなど対応できるものと考えております。

【部会長】

ありがとうございます。

最初の種目でしたので、こういう形で進めてまいるという確認になるんですけど、まず全者の紹介をしていただいて、特に優れているというものをご説明いただいて、その後、教科書を見ながら審議を深めていくということになります。

次回の第3回地区部会においては、今回の第2回地区部会の中でいただきましたご意見を反映していくという流れになってまいろうかと思えます。

ただいまのご審議で、特に皆さんから異論なければ三省堂と光村を我々としては特に優れている2者ということで、答申の作成にあたるということによろしゅうございますでしょうか。

(委員全員うなづく)

特にないようですので、次の種目に移らせていただきたいと思います。何か途中でありましたら、ご意見としておっしゃっていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、国語の審議につきましては以上でございます。

続きまして、書写の審議に移ってまいりたいと思います。それでは、事務局からお願いいたします。

【代表調査員】

失礼いたします。書写の専門調査会の代表調査員も、私、井高野中学校長、池尻が務めさせていただいております。よろしく願いいたします。

まず、資料2の4ページ、調査の観点のページでございます。そちらのほうをご覧ください。

書写の重点化した観点は、番号に丸をした4点でございます。

次に、資料3の5ページ、専門調査会調査結果をご覧ください。書写の発行者は4者でございます。

それでは、資料に沿って順にご説明をいたします。まず、東京書籍、東書の調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点4点のうち、特に優れている点は1の3、2の6、3の6の3点、特に工夫・配慮を要する点は2の7の1点といたしました。なお、東京書籍はデジタル教科書を発行する予定はございません。

2つ目の三省堂の調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点4点のうち、特に優れている点、1の3、2の6、2の7、3の6の4点、特に工夫・配慮を要する点は見当たらないものといたしました。なお、三省堂はデジタル教科書を今後発行する予定がございます。

3つ目、教育出版、教出の調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点4点のうち、特に優れている点は1の3、2の6、2の7の3点、特に工夫・配慮を要する点は3の6の1点といたしました。なお、教育出版は今後デジタル教科書を発行する予定がございます。また、教育出版は本市で現在使用している教科書の発行者でございます。

4つ目、光村図書、光村の調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点4点のうち、特に優れている点は1の3、2の7の2点、特に工夫・配慮を要する点は2の6、3の6の2点といたしました。なお、光村図書は今後デジタル教科書を発行する予定はございません。

以上のことから、専門調査会といたしまして、優位性がある2者は特に優れている点が4点の三省堂、3点の東京書籍であり、そのうち特に優位性があるのは三省堂という結果となりました。なお、2位は東京書籍と申し上げましたが、教育出版のほうも特に優れている点が3点でございます。ただ、東京書籍を2位といたしましたのは、重点項目以外にも2の2、3の7など、特に優れている点が多く、また、特に工夫・配慮を要する点の数が2点と少なかったこと、それに対し、教育出版は特に工夫・配慮を要する点が4点と、東京書籍よりも多かったこと、また東京書籍が複数の基本単元ごとにまとめのページが設けられていて、実際に書いて自らの理解を確かめることができる構成になっている点から優位性があるといたしました。

続きまして、資料4の2ページ、学校調査会集計結果の書写でございます。下から4行目、重点化した観定の計でございますが、東京書籍が特に優れている点が23点、特に工夫・配慮を要する点が3点、同様に三省堂は特に優れている点が27点、特に工夫・配慮を要する点が4点となっております。また、教育出版、教出、特に優れている点が23点、特に工夫・配慮を要する点が7点となっております。最後、光村図書が特に優れている点が18点、特に工夫・配慮を要する点が5点という結果となっております。

東京書籍、東書と教育出版、教出においては、特に優れている点は両者とも23点と同点ですが、特に工夫・配慮を要する点につきましては、東京書籍が3、教育出版が7と、東京書籍のほうが少ないということから、東京書籍に優位性があると考えております。

以上のことから、学校調査会といたしましては、優位性がある2者は三省堂と東京書籍であり、そのうち特に優位性があるのは三省堂という結果となっております。

両調査会の調査結果が一致しております。

以上、発行者ごとの優位性についてご説明申し上げます。よろしく願いいたします。

【部会長】

ありがとうございました。

優位性のある2者についてですけれども、ご説明を聞くと特に優れている点について三省堂は4点

で1位、2位と3位が東京書籍、教育出版で共に並んでいるんだけど、特に優れている点、特に工夫・配慮を要する点の重点化した観点以外も含めた部分でいうと、東京書籍が特に優れている点が5つあって、特に工夫・配慮を要する点が3つ、一方、教育出版のほうも、特に優れている点は5つあるんだけど、特に工夫・配慮を要する点が4つあるんだということで、特に工夫・配慮を要する点が多い教育出版のほうで3位と、少ない東京書籍のほうで2位になったというご説明であったと思われます。学校調査会も同じように、特に工夫・配慮を要する点が少ない東京書籍のほうで2位で、教育出版のほうで3位という点によっても一致しているというふうなことと思われます。先程に中身についての質問がありましたけれど、この後の東京書籍のご説明の際に、また改めてページ数を示していただくことにいたしまして、まずは、ただいまの優位性について、4者の中から優れている2者に絞るということについて確認いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

【代表調査員】

よろしいですか。デジタル教科書は東書がないと言いましたけれど、ある予定で修正をお願いいたします。

【部会長】

ということは、デジタル教科書がないのは光村だけで、東書、三省堂においてはあるということですね。

【代表調査員】

光村はないです。

【部会長】

分かりました。ありがとうございます。

他に何かご質問はございますでしょうか。

特にございませんでしたら、三省堂と東書、この2者に絞ったご説明をお願いしたいと思います。この冊子のこのページを開きながら、ご説明をお聴きしたいと思っています。

それでは、よろしく願いいたします。

【代表調査員】

まず、こちらが三省堂になります。少し小さくて、虹と島と海の表紙のものでございます。続きまして、こちらが東京書籍、鳥と浜辺の堤防からそれを見ている子どもたちという、表紙でございます。

それでは、資料3の6ページ、専門調査会調査結果のページでございまして、総評欄の、三省堂の大きな特徴は3の6でございまして、日常生活や社会生活の中で活用できる書き方が身につくよう、習得すべきコツが明確に捉えられている点、硬筆による書き込み欄が32ページ、44ページなど設けられている点で優れていると評価しております。

32ページ、はがきのところを実際に書くことができる点、あるいは44ページも見本が上にあつて、その下に何回か練習ができるようになっております。

また、同じように、54ページ、こちらは行書ですね。行書の毛筆で学んだことを鉛筆でやりましょう、同じように都道府県も書けるなどとなっております。

それでは、資料3の5ページをご覧ください。東京書籍の大きな特徴は1の3でございまして。文字を整えて、正しく早く書くために必要な知識を書写の鍵と名づけて、学習事項を明確にしている点です。ページでいうと東京書籍の36ページ、書写の鍵ということでそのページの左上、点画の変化を4分の1の大きさですから、こうやって示している点、あるいは同じく52ページ、書写の鍵ということで、少し小さいところですが、示している点がございまして。同じように筆順の変化と回数を書く

ところがある、数とか若干少ないかと思いますが、書写の鍵を使って構成されておりますので、どのように学ぶか、点画の連続であるとか筆順の変化等は分かりやすいかと思います。

続きまして、両者の評価の違いが見られるのは2の7でございます。三省堂は20ページから23ページ、あるいは38と39ページなどですね。そのページの学習内容が分かりやすく提示されており、毛筆練習の後に硬筆で練習する、書いて身につけようのコーナーがありまして、毛筆、硬筆共に習得でき、自覚的に学習を進め、生徒の学びの意欲がさらに強くなるような構成となっているという点で優れているのではないかと考えております。

東京書籍は54ページをご覧ください、反復して、毛筆や硬筆で書く、そして書写の能力の定着を図るには若干サンプル数が少なく工夫が要るのではないかと考えております。

このような点から三省堂を1位といたしまして、特に優位性の発行者としたところでございます。

私からは以上です。よろしくお願いいたします。

【部会長】

ありがとうございました。

ただいまのご説明に関しまして、ご質問はございますでしょうか。

【委員】

すみません、東京書籍のほうの目次を見ると、四角でDのマークがついていると思いますが、動画でチェックといったようなマークになっていると思いますが、これについてはどのような評価になっているのでしょうか。

【代表調査員】

インターネットを使ってできるということですよ。これから、パソコンが一人1台という時代になってくると便利かと思いますが、授業で使うとなると、説明の方法の工夫などが必要だと思います。ただ、自分で活用するにはいい点だと思います。

【部会長】

今の説明でいうと、特に優れている点の3の7でデジタルコンテンツが充実しており、プロジェクターやタブレットなど、授業場面に応じて様々な方法で活用できるように配慮されているという部分の内容ということでしょうか。

【代表調査員】

そうです。

【部会長】

ほかにご質問ありませんか。

それでは、書写につきましては、2者ということで三省堂と東書をそれぞれ1位、2位ということで優位性のある2者と確認いたします。よろしいでしょうか。

(委員全員うなづく)

ありがとうございます。

それでは、次の種目に移ってまいりたいと思います。次の種目につきましては地理でございます。

それでは、事務局からご説明をよろしくお願いいたします。

【代表調査員】

失礼いたします。地理的分野の代表調査員を務めます新東淀中学校の校長、奥野直健と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

まず、資料2をご覧ください。5ページでございます。地理的分野の観点が載っておりますが、

重点化した観点につきましては丸をつけております5点でございます。この点について特に評価をいたしました。

続いて、資料3をご覧ください。9ページをお開けいただけますでしょうか。9ページに専門調査会の調査結果が載っております。地理的分野の発行者は4者でございます。

それでは、その資料に沿ってご説明をさせていただきます。

まず、東京書籍の調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は2の6、3の6の2点でございます。また、特に工夫・配慮を要する点は1の3、2の2、2の3の3点といたしました。なお、東京書籍は今後デジタル教科書を発行する予定がございます。

次のページでございます。続いて、教育出版の調査結果でございますが、同じく総評欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は2の2の1点、また、特に工夫・配慮を要する点は1の3、2の3、2の6、3の6の4点といたしました。なお、教育出版は今後デジタル教科書を発行する予定がございます。

次のページでございます。次は帝国書院の調査結果でございます。同じく総評欄の重点化した観点5点のうち、優れている点は1の3、2の2、2の3、2の6、3の6の5点ございまして、特に工夫・配慮を要する点は見当たりませんでした。なお、帝国書院も今後デジタル教科書を発行する予定がございます。また、帝国書院は本市で現在使用しております発行者でございます。

最後に、日本文教出版の調査結果でございます。総評欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は2の6の1点、特に工夫・配慮を要する点は1の3、2の2、2の3、3の6の4点といたしました。なお、日本文教出版は今後デジタル教科書を発行する予定がございます。

以上のことから、専門調査会としましては、優位性がある2者は特に優れている点が2点の東京書籍と5点の帝国書院であり、そのうち特に優位性があるのは帝国書院という結果となりました。

続きまして、資料4をご覧ください。3ページ、学校調査会集約結果のページでございます。地理的分野のページが3ページにございますが、下から4行目をご覧ください。重点化した観点計でございますが、東京書籍は特に優れている点が30点、特に工夫・配慮を要する点が6点となっております。同様に教育出版は18点と7点、帝国書院は38点と4点、日本文教出版は16点と9点となっております。

以上のことから、学校調査会としては優位性がある2者は、東京書籍と帝国書院であり、そのうち、優位性があるのは帝国書院という結果となっております。

したがいまして、両調査会の調査結果は一致して優位性のある2者を東京書籍と帝国書院としております。

以上、発行者ごとの優位性についてご説明を申し上げます。

【部会長】

ありがとうございました。

それでは、優位性のある2者を前提にしての審議を始めたいと思います。ただいま専門調査会からの報告では東京書籍と帝国書院が優位性のある2者ということでした。ただいまのご説明に対し、質問等はございますでしょうか。

それでは、この2者に絞って、さらに調査結果の内容についての説明に進めてまいりたいと思います。先ほどの国語・書写についてのご説明をお聞きいただいたと思いますが、まず教科者のどのページかということをご説明いただいて、それから内容をご説明いただくということをお願いいたします。

【代表調査員】

それでは、まず資料3の9ページをご覧ください。そちらの東京書籍の総評欄についてご説明をさせていただきます。

また、教科書につきましても、東京書籍、こちらでございしますが、まず34ページを開いていただきましたらと思います。東京書籍34ページからご覧ください。よろしいでしょうか。

東京書籍の大きな特徴は2の6でございまして、各章の導入において世界の人々の生活を探ろうや、このほかのページにSDGsから地球的課題を考えようですとか、日本がどのような国かイメージしようなどを設定しておりまして、日本や世界の地域に関わる諸事象について主体的に追求解決しようとする態度を養うことができるという点で優れていると評価しております。こちらでしたら、この世界の様々な地域の第1章、世界各地の人々の生活と環境という章の中のスタートとして、人々の、特に住環境をテーマにまず概観していくと、こういうようなことになっております。

また55ページをご覧ください。こちらでございしますが、SDGsから地球的課題を考えようということで、それぞれの州ごとで都市の様子を横に並べてそれぞれの州による違い等について考えていく。SDGsについて考えていくと共に地球的課題についても考えていくというふうな作り方をしております。

もう1ページ、ご紹介しますと、156ページをお開けください。こちらも日本の諸地域の学習のスタートとして導入の活動として、日本がどのような国かイメージしようということで、日本の、例えば人口が多いこと、そして、島国であること、そして、臨海の工業地域が発達していること、そして、丘陵地斜面も活用しながら住宅都市として広がっている点など、様々な日本の地域の特色、そちらを学べる形につくられております。

続いて、報告書のページで、11ページになりますが、帝国書院でございします。帝国書院につきましては82ページをお開けください。こちらのアフリカ州についてのページでございします。帝国書院の大きな特徴は、観点でいきますと、2の2でございまして、各州の主題、テーマに応じまして、人々の生活の様子と地球的課題を関連づけて把握できるようになっています。これが82ページ、これがアフリカ州です。特に写真を多く使いまして、その州の様子、生活の様子、そして地球的課題がつながっていくような形になっております。

ほかのページで申し上げますと、94ページ、これが北アメリカ州、そして、108ページにも同じような形で写真からその州の特徴を捉えながら、地球的課題につなげていくようなページがございします。

また、ほかのページは、203ページから218ページまで、ちょっと幅広うございしますが、近畿地方の学習のところでございします、203ページ以降、近畿地方の学習が218ページまで続きますが、この辺りでは自然環境、歴史、生活文化など、その地域的な特色について、バランスよく取り扱われているという点でも優れていると評価をしております。

続きまして、両者の評価で違いが見られる点でございしますが、項目でいきますと、2の3でございまして、まず、今開いていただいております帝国書院の46ページをお開けください。このページで技能を磨くというコーナーがございします。この46ページは主題図の読み取り方というタイトルがついております。この技能を磨くというコーナーが帝国書院では23か所設定されておりまして、地図帳や写真、グラフ等の読み取り方や地理学習の基礎的な技能が学ばまして、資料活用能力を高めることに配慮をされているかというふうに思います。

もう1ページでいきますと、136ページもご覧ください。地形図の使い方ということで、なかなか現在の子どもたちはこういう平面で地形図を見て、斜面の起伏を感じ取るというのが難しいところ

がございますので、その辺りに十分ページを使われているという点でございます。

それに対しまして、東京書籍のほうでございますが、東京書籍は資料から発見というページが一部ございます。ページ数でいきますと、71ページをご覧ください。この左側のページでございますが、資料を活用する力を鍛えようと、こういうページが一部ございますが、世界の諸地域学習のみ配置がされておりまして、日本の諸地域学習には設定がございません。できればこれは世界、日本どちらにもそういうページ設定があればありがたいと思うところでございます。

また、日本の諸地域を扱うページ数についても、帝国書院が日本については115ページ扱っておりますが、東京書籍は87ページと、20ページ近く少のうございまして、これはほかの発行者と比較しても少ないというところから、地域の諸事象や地域的特色を理解する際に工夫・配慮を要すると考えております。

以上のことから、帝国書院を特に優位性のある発行社としたところでございます。

以上でございます。

【部会長】

ありがとうございました。

ただいまのことに関しましてご質問はございますでしょうか。

【委員】

失礼します。先ほどのご説明の中にあつたというわけではないんですけども、この資料3の中にあります記述の中で、帝国書院のほうには特に工夫・配慮を要する点の2、内容の取扱いで、自然災害や防災に係る内容がやや少なくというところがありました。それと、その点と東書におけるその点との違いみたいなことが、もし分かれば教えていただけますでしょうか。

【代表調査員】

ご指摘の部分について、比べて調査したことは、やっておりますので、今、申し上げるのはどうかというふうに思っております。

【部会長】

次回の第3回の際にお答えを用意していただいて、事務局からお答えさせていただければと思います。

【委員】

ありがとうございます。

今、自然災害等非常に多くなってきているので、そこから学ぶということが、そういう視点も必要かなと思ったものですから、また教えていただけたらと思います。

【部会長】

ほかにございませんでしょうか。

【委員】

最近の教科書は非常に図や写真が多く、表紙自体もよく似通っているというような状況の中で、帝国の写真など見ている中で、発色などについて見られたりしたのでしょうか。

あまり写真で評価とかそういうのはされてないので、多くなればなるほど、やっぱりその辺りも観点の1つにさせていただけたらいいかと思いました。感想です。

【部会長】

ありがとうございました。

本来であれば観点の3の3がさし絵や写真などが鮮明で、色づかいが配慮されており、大きさや位

置などが適切に配慮されているか、といったところでの評価となると思われませんが、そういった観点も考慮すべきというご意見でした。

ほかにご意見、ご質問ございませんでしょうか。よろしゅうございますか。

(委員全員うなずく)

それでは、地理についての審議につきましては、1位として帝国書院、2位として東京書籍という形となります。先ほどのご質問なりご意見につきましては、次回の選定委員会までにお答えを専門調査会から事務局のほうまで伝えていただき事務局のほうからお答えするというので、事務局のほうもそのような対応でよろしく申し上げます。

それでは、続きまして、地図の審議に入りたいと思います。ただ、地図につきましては、2者ですので、優位性の審議は行いません。両者は一括で内容についてのご説明をお願いいたします。それでは、お手元に地図の教科書を用意いただきながら、ご説明にそって内容の確認をいただければと思います。

それでは、よろしく願いいたします。

【代表調査員】

失礼いたします。地図の専門調査会、代表調査員、同じく新東淀川中学校校長の奥野でございます。どうぞよろしく申し上げます。

まず、資料2の調査の観点についてご説明をさせていただきます。8ページをご覧ください。地図の重点化した観点は番号、丸を振っております5点でございます。

続きまして、資料3の26ページをご覧ください。専門調査会の調査結果でございます。今ございましたように、地図の発行者は2者でございます。

それでは、資料に沿ってご報告をいたします。

まず、東京書籍の調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は1の3、2の1、2の4の3点でございます。また、特に工夫・配慮を要する点は2の3、3の6の2点といたしました。なお、東京書籍は今後デジタル教科書を発行する予定がございます。

続いて、帝国書院の調査結果でございますが、重点化した観点5点のうち、特に優れている点は1の3、2の1、2の3、2の4、3の6の5点、特に工夫・配慮を要する点は見当たりませんでした。なお、帝国書院は今後デジタル教科書を発行する予定がございます。また、帝国書院は本市で現在使用している発行者でございます。

以上のことから、専門調査会といたしましては、特に優位性があるのは帝国書院という結果となりました。

次に、資料4をご覧ください。6ページ、学校調査会集計結果の地図のページでございます。こちらでも下から4行目、重点化した観点計をご覧ください。東京書籍は特に優れている点が18点、特に工夫・配慮を要する点が5点となっております。帝国書院は35点と4点となっております。

以上のことから、学校調査会としましては、特に優位性があるのは帝国書院という結果となっております。

続けて、説明をさせていただきます。再び資料3の26ページをご覧ください。東京書籍のページでございます。教科書は49ページをお開けいただけたらと思います。東京書籍の49ページでございます。ヨーロッパ州のテーマ資料ということで、大きく鳥瞰図が載っております。ここからこの後、テーマ資料1、そして、その後少しページが飛びますが、56、57、58とテーマ資料が続いてまいります。その間に一般的な図ですとか基本資料とかが入っております。

この東京書籍の大きな特徴は2の4でございまして、世界の諸地域、日本の諸地域共に今見ていただきました一般図、基本資料、テーマ資料の構成となっております、地図と関連資料から社会的事情についての様々な情報が効果的に収集できると、順番にページをめくっていくことによって、様々な情報が取り入れられる、読み取れるという点で優れていると評価をしております。

続いて、帝国書院のご説明をさせていただきます。報告書のページで、27ページでございまして、教科書のページで、まず31ページをご覧ください。こちらは東アジアと日本の交流の歴史ということで、ユーラシア大陸から日本を見た、そのような地図が載っております。また、その左下に日本とこれまでの、現代の大陸との交流が地図として、航空機の路線図等が載っております。

続いて、103ページをご覧ください。こちらは近畿地方、大阪市、そして右に京都市ですが、大阪市の現在の中心部と左下に江戸時代の大阪のまちの地図が載っております。こちらが103ページでございます。このほかにも107ページ、126ページも同様なんですけど、元禄期の大阪、江戸時代末期の東京の地図ですとか、5街道を示した鳥瞰図などが載っております、我が国の国土と歴史を、また霞が関の拡大地図では現代の政治を、さらにEUや大陸と日本との関わりなどの地図も用意することで、国際関係の理解も深めるなど、歴史的な分野や公民的分野の技能も身につけられるという点で優れていると評価をしております。これが帝国書院の優れている点についてのご説明でございます。

続いて、両者の比較で申し上げますと、違いが見られますのは2の3の項目でございまして、まず東京書籍ですと、49ページをお開けください。先ほども開けていただいたところでございます。そして、それに対して、帝国書院も、49ページでございます。

この2つを並べていただきますと、同じような表現はしてあるんですけども、情報量は非常に違います。東京書籍は鳥瞰図の情報量が少のうございまして、帝国書院のほうが情報量が非常に多いというような形で、もし東京書籍の鳥瞰図を使って同様の学習をしようとする、東京書籍についてはほかの資料を併用しなければならないかなというところで優位性が違ってまいるかというふうに思っております。

以上のことから、帝国書院を特に優位性のある発行者といたしましたところでございます。

以上でございます。

【部会長】

ありがとうございました。

ご質問はございますでしょうか。

【委員】

東書のほうで、ジャンプマークというのがついてるということで見させてもらったんですけども、これは「同一発行者の教科書との関連性を示しており、他者の教科書を使用する場合に配慮を要する」ということですが、参考に43ページを見させてもらったんですけども、これはジャンプマークの下、ページと番号が書いてあるんですけど、これはこの教科書内のページ数と番号ですよ。

【代表調査員】

そうですね。同じ発行者の教科書を使った場合にはここを見ましようとの関連性がありますよというところです。

【委員】

ほかの教科書と関連するというのは、別に教科書があるのでしょうか。

【代表調査員】

同じ発行者の場合だけの印なので、もし他者の教科書を使っていると、このページ数というのは全く意味のないものということになる。

【部会長】

ただ今の説明で、同じ地図の冊子の中の、例えば27ページなどと載っていますが、そこへ飛ぶということの意味しているのではないんですか。

【代表調査員】

失礼しました。そのとおりです。

【部会長】

となりますと、総評の3の6で示している評価というのは、これは何を意味していますか。

【代表調査員】

確認してまいります。

【部会長】

次回のときにお答えをお願いします。

ほかにご意見ございましたら、どうぞお願いいたします。

特にご意見なければ、専門調査会の報告のと通りの優位性といたします。

(委員全員うなづく)

ありがとうございます。

それでは、地図の審議といたしましては以上でございます。

それでは、続きまして、歴史の審議に移りたいと思います。

【代表調査員】

失礼いたします。社会科歴史的分野の専門調査会の代表調査員を務めます淀中学校の校長の尾崎です。よろしく願いいたします。

まず、資料2の6ページをご覧ください。歴史的分野の重点化した観点は番号に丸をした5点でございます。次に、資料3の13ページの専門調査会調査結果をご覧ください。歴史的分野の発行者は7者でございます。

それでは、資料に沿って順にご報告させていただきます。

まず、東京書籍の調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は1の3、2の3、2の6、3の6の4点、特に工夫・配慮を要する点は2の2の1点といたしました。なお、東京書籍は今後デジタル教科書を発行する予定がございます。

次に、教育出版の調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は1の3、2の2、2の3、3の6の4点、特に工夫・配慮を要する点は2の6の1点といたしました。なお、教育出版は今後デジタル教科書を発行する予定がございます。

次に、帝国書院の調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は1の3、2の2、2の3、2の6、3の6の5点、特に工夫・配慮を要する点はございません。なお、帝国書院は今後デジタル教科書を発行する予定がございます。

続きまして、山川出版の調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は1の3、2の2、2の6の3点、特に工夫・配慮を要する点は2の3、3の6の2点といたしました。なお、山川出版は今後デジタル教科書を発行する予定がございます。

次に、日本文教出版の調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は1の3、2の2、2の3、2の6、3の6の5点、特に工夫・配慮を要する点に関しまして

はございませんでした。なお、日本文教出版は今後デジタル教科書を発行する予定がございます。

次に、育鵬社の調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は1の3、2の2、2の3、2の6の4点、特に工夫・配慮を要する点は3の6の1点といたしました。なお、育鵬社は今後デジタル教科書を発行する予定はございません。また、育鵬社は本市で現在使用している発行者でございます。

次に、学び舎の調査結果でございます。総評欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は1の3、2の3、2の6、3の6の4点、特に工夫・配慮を要する点は2の2の1点といたしました。なお、学び舎は今後デジタル教科書を発行する予定はございません。

以上のことから、専門調査会としては優位性のある2者は特に優れている点が5点の帝国書院と日本文教出版であり、そのうち、特に優位性があるのは全ての調査の観点の特に優れている点が帝国書院が7点、日本文教出版が6点、よって、帝国書院のほうが優位であるという結果になりました。

優位性のある2者と、3位以下の評価が近接しております。帝国書院は時代背景や当時の人々が置かれた立場や考え方など多面的・多角的に考察できるような構成になっている、多面的・多角的に考えてみようなどの特設ページが多く、各章のまとめや発展的学習ができるページが3位以下よりも豊富にあります。

また、日本文教出版も、歴史との対話を未来に生かすという主体的に学習する項目が豊富で、チャレンジ歴史では生徒の発達の段階に応じて、主体的、対話的な学びを促すことが期待できます。

また、ノルマントン号事件の資料の扱いについて、帝国書院では190ページに出ておりますが、日本文教出版は203ページにこのノルマントン号事件の資料が出ております。この2者に関しましては、紀伊海難船之図という資料が使われているのに対して、教育出版、東京書籍はビゴアの風刺画、メンザレ号事件の資料を使用しています。ノルマントン号事件の風刺画であるため、資料としての間違いではありませんが、説明時にこの風刺画そのものがノルマントン号事件であると、誤解されないような配慮をする必要があると思われまます。それらの点も評価し、優位性のある2者として、帝国書院、日本文教出版が優位であるという結果になりました。

次に、資料4の4ページの学校調査会集計結果の歴史的分野をお開きください。下から4行目の重点化した観点計でございますが、東京書籍は特に優れている点が23点、特に工夫・配慮を要する点が2点となっております。同様に、教育出版は22点と5点、帝国書院は30点と1点、山川出版は25点と3点、日本文教出版は30点と3点、育鵬社は7点と14点、学び舎は1点と1点となっております。

学び舎の学校調査会結果については、教科書見本本が少なかったため、調査するに当たっては学校の実情に応じて、教科書センターで閲覧し、調査するようにお願いしていたところですが、想定していた程度の調査結果数を得ることができませんでした。このまま採択業務を進めますと、公正な採択という点で課題があると考えておりますため、現在、学び舎の見本本を改めて回覧し、各校で調査研究をお願いしているところでございます。

以上のことから、学校調査会としては優位性のある2者は、現時点では、帝国書院と日本文教出版であり、そのうち特に優位性があるのは帝国書院という結果となっております。

両調査会の調査結果は一致して、優位性のある2者を帝国書院と日本文教出版としております。

以上、発行者ごとの優位性についてご説明申し上げます。

以上です。

【部会長】

ありがとうございました。

ご説明のときに、ノルマントン号事件の内容があった際の確認なんですけれども、帝国書院だと190ページ、日本文教出版では何ページでしょうか。

【代表調査員】

203ページです。

【部会長】

風刺画を使用しているのは東京出版、それと、教育出版。

【代表調査員】

教育出版でいうと、187ページになります。ビゴアの風刺画の分です。同じく東京書籍は187ページになります。このビゴアの風刺画というのは、本来、メンザレ号事件を扱ったものなんですけど、ただ、ノルマントン号事件に対しての風刺画という点では、資料としては間違いではないんですけども、この風刺画の絵そのものをノルマントン号事件というふうに捉えてしまうと誤解をされるということで、その辺り、資料の説明が必要かなということを申し上げさせていただきました。

【部会長】

ノルマントン号事件そのものを取り上げたものかという説明があるということですね。

【代表調査員】

はい、そうです。

【部会長】

それと、学び舎の説明にございましたけれど、要は学校調査会が26校ありますけども、全部の学校に回覧できていない、見れていないということなんですね。

【代表調査員】

見本本の数が少なかったということで回ってないということです。

【部会長】

分かりました。ちなみに学校調査会の結果は見本本を回して現在見てもらっているところだということですけども、その結果が出てきても、専門調査会としては1位が帝国でしたか。

【代表調査員】

帝国です。

【部会長】

そして、2位が日本文教出版であるという結果については変わらないと。

【代表調査員】

専門調査会で調べた結果としては変わらないです。

【部会長】

学校調査会の結果で、数値が変わったとしても変わらないということでしょうか。

【代表調査員】

現時点では変わらないです。

【部会長】

分かりました。ありがとうございます。

以上、ご説明をいただきましたけれども、ただいまの説明を受けまして、また、上位2者の帝国書院と日本文教出版について審議を再開いたしますが、皆様のご意見、ご質問はございますでしょうか。

【委員】

今の学び舎の取扱いのほうは、スケジュール感的にはどのようなイメージで進んでいるんでしょうか。

【事務局】

失礼します。次週の3回目までに間に合うように進めていたところだったんですけども、見本本自体がどうしても間に合いませんので、来週に報告できるところまでは報告させていただこうと思うんですけども、もしかすれば来週に間に合わず、教育委員会会議まで集計結果が出てこない可能性がございます。できるだけ学校には早く出してもらおうようにはしていますけども、順番に回しておりますので、回った学校の方だけは来週に間に合わそうと思っております。

【委員】

今の学び舎のお話は全部の地区で同じなんですか。

【事務局】

はい。

【委員】

その確認だけです。

【部会長】

学び舎だけ見本本の提供が少なかった、地区ごとに1セットぐらいしか用意できてない、そういう調査の中で学校にも順に回していたのですけれども学び舎だけは回し切れなかったということだそうです。次回にはご報告できる範囲で学び舎がどうだったかというのは事務局のほうから報告していただきます。

今の質問以外にご質問ございましたら、お願いいたします。

【委員】

今、大阪市が使っている教科書が育鵬社という説明だったかと思うんですけども、かなり現場のほうの学校調査会のほうでも評価が低いと思うんですけども、それでは今のその教科書に何か課題というか、そういうものがあるんですかね。

【代表調査員】

実際には、新しい教科書を見ての調査だと思うので、結果がこれになったと思っております。専門調査会としてはこの新しい教科書を調べた結果、それほどの差はつけてはないというか、育鵬社の教科書に関しても差はないと、新しい教科書に関してはそれほど大きな差はないというふうには捉えております。

【部会長】

そういったところでいうと、資料5の学校調査会の代表的コメントが出てきているかと思いますが、5ページ、育鵬社のことも含めて専門調査会として何かコメントはございますか。

【代表調査員】

現行の教科書について、ざっくりしている内容であるとか、副読本を使わないと説明が十分にはできなかったというようなことは現場の教員から聞いたことはあります。ただ、それはその一部の意見ではありますので、それが全ての教員の意見というふうには断言できませんので、あくまでもここに書いてある資料を見ていただくことになると思います。

【部会長】

育鵬社のコメントの欄でいうと、特に工夫・配慮を要する点としてのコメントが多いのかなというように思いますので、学校調査会としてはそういったご意見を持っておられるところもあるのかもし

れませんけども、その辺りが集計結果に表れているときと言い切れるかどうか、その因果関係がそれだけでは分からないところもあるということでしょうか。

ほかに何かご質問、ご意見はございますでしょうか。よろしゅうございますか。優位性があるという部分でいきますと、帝国書院と日本文教出版でございますが、よろしゅうございますか。

(委員全員うなずく)

特にございませんでしたら、続けて内容のご説明をお願いいたします。

【代表調査員】

それでは、資料3の15ページをご覧ください。総評欄でございますが、帝国書院の大きな特徴は1の3でございます。これは主体的・対話的で深い学びが意識されたつくりになっているという点でつくれていると評価しています。実際に帝国書院の教科書144ページ、145ページ、赤穂事件を考察するというページですが、このページをご覧くださいませでしょうか。これは一例ですけれども、遠い存在である過去の出来事を身近なもの、我が事と捉えさせるそのエンパシーと言われる部分に着目し、様々な豊富な資料をつけ、そして、時代背景や当時の人々の置かれた立場や考え方などを多面的・多角的に考察できるような構成になっています。この標題も多面的・多角的に考えてみようという標題なんですけれども、これらのところから授業をする側にとっても、とても興味の湧く特設ページと思われまますので、この144ページの多面的・多角的に考えようという部分を取り上げさせていただきました。

ほかにも多面的・多角的に考えてみようというページはほかのページにもありますので、その辺りは優位性の1つとして挙げさせていただいております。

それから、今度は日本文教出版のほうですけれども、17ページをご覧ください。日本文教出版に関しまして、教科書のページは74ページになります。日本文教出版の74ページ、こちらにはチャレンジ歴史と言われるページが出ております。日本文教出版の大きな特徴はウェブページでのデジタル資料が活用できる特設ページ、このチャレンジ資料があります。ここでは生徒の発達段階に応じた教材を掲載し、主体的・対話的な学びを促す課題や活動が用意されております。

この74、75ページのこの標題の横にテレビのようなパソコンのマークがついております。この部分がウェブページに資料が出ているというマークになっております。

実際にはこれを見るためには、5ページを開けると、ここに二次元マークが、デジタルマークがついておりますので、この5ページのデジタルマークをチェックすることで、先ほどのチャレンジ歴史の部分の勉強もできるというふうになっております。

これが日本文教出版の優れていると評価した点でございます。

以上、帝国書院と日本文教出版の優れている、優位性のある2者の説明とさせていただきます。

【部会長】

ありがとうございました。

ちなみに、帝国書院と日本文教出版が1位と2位で、特に帝国のほうが優れているとされているとされているのは、特にどのような部分でしょうか。

【代表調査員】

失礼します。先ほど、日本文教出版でデジタル資料の話をしていただきましたが、同様に帝国書院の24ページにタイムトラベルという項目が出ております。ここに二次元コードがついております。動画や様々なコンテンツにアクセスができるようにされています。

ただ、日本文教出版に関しましては、帝国書院に比べると、動画・スライドの視聴可能本数が少な

いというのがあります。その上、日本文教出版は一旦5ページに戻り、この二次元コードを引かなければならないということになるので、その辺りが同じウェブページを活用するにしても帝国書院のほうが優位である、発行者として優位性があるということでございます。

それがこの2者との違いということでご説明させていただきます。

【部会長】

ありがとうございました。

ただいまの部分について、ご意見、ご質問等がありましたら、お願いいたします。

【委員】

今、ちょうどデジタルマーク、二次元コードのほうをご説明いただいたんですけども、日本文教出版さんのほうは5ページでないと、そのマークを拾うことができないということで、これを読み込んだとしたら、そのページのテーマのところ、そのデジタルの中でも探していくという形になるんですか。

【代表調査員】

5ページで調べると、デジタル資料がある、今度はページが出てくるので、そのデジタルページの関係するところをクリックして、そこから見るということになります。だから、一旦、5ページに戻ると、関係するページが全て出てくるということにはなりません。

【委員】

ちなみに、帝国書院さんのほうは各ページテーマの横にQRコードがついているんですが、このQRコードを読めばそのテーマのところ自動的に、つながるということでしょうか。

【代表調査員】

はい。そのページに関する資料が、コンテンツが見れるということになります。ちなみに、タイムトラベル以外にもその各章の最初の部分にも、例えば、14ページの第1章の一番最初にも二次元コードがついておまして、章の初めと発展的内容とに二次元コードが帝国書院の場合にはついております。

【部会長】

ありがとうございました。

ほかにご意見ご質問はございますでしょうか。よろしいでしょうか。

(委員全員うなづく)

それでは、歴史につきましては優位性のある2者として帝国書院と日本文教出版といたします。次回に答申資料をまとめていくという訳ですが、学び舎の学校調査会の集計結果も参考に見ていただければというふうに思います。

それでは、歴史の審議は以上で終了します。

続いて公民の審議をお願いいたします。

【代表調査員】

失礼いたします。公民の専門調査会の代表調査員を務めます美津島中学校長、三島隆夫でございます。どうぞよろしく申し上げます。

まず、資料2の7ページ、調査の観点のところをご覧ください。公民の重点化した観点は番号に丸をした5点でございます。

次に、資料3の20ページの専門調査会調査結果をご覧ください。公民の発行者は6者でございます。

それでは、資料に沿って順にご報告いたします。まず、東京書籍の調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は1の3、2の2、2の3、2の6、3の6の5点、特に工夫・配慮を要する点は0点といたしました。なお、東京書籍は今後デジタル教科書を発行する予定がございます。

次に、教育出版の調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は1の3、2の2、2の3、3の6の4点、特に工夫・配慮を要する点は2の6の1点といたしました。なお、教育出版は今後デジタル教科書を発行する予定がございます。

次に、帝国書院の調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は2の2、2の3、2の6、3の6の4点、特に工夫・配慮を要する点は1の3の1点といたしました。なお、帝国書院は今後デジタル教科書を発行する予定がございます。

次に、日本文教出版の調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は1の3、2の2、2の3、2の6の4点、特に工夫・配慮を要する点は3の6の1点といたしました。なお、日本文教出版は今後デジタル教科書を発行する予定がございます。

次に、自由社の調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は0点、特に工夫・配慮を要する点は1の3、2の2、2の3、2の6、3の6の5点といたしました。なお、自由社は今後デジタル教科書を発行する予定はございません。

最後に、育鵬社の調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は2の2の1点、特に工夫・配慮を要する点は1の3、2の3、2の6、3の6の4点といたしました。なお、育鵬社は今後デジタル教科書を発行する予定がございます。また、育鵬社は本市で現在使用している発行社でございます。

以上のことから、専門調査会としては優位性がある2者は、特に優れている点が5点の東京書籍と、4点の帝国書院であり、そのうち特に優位性があるのは東京書籍という結果になりました。なお、総評欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点が4点の教育出版、帝国書院、日本文教出版の中で、全ての調査の観点の特に優れている点が7点と、一番多い帝国書院を優位性の2位といたしました。

次に、資料4の5ページの学校調査会の調査集約結果の公民をお開きください。下から4行目の重点化した観点計でございますが、東京書籍は特に優れている点が37点、特に工夫・配慮を要する点が3点となっております。同様に教育出版は21点と3点となっております。同様に帝国書院は25点と2点となっております。同様に日本文教出版は26点と4点となっております。同様に自由社は12点と17点となっております。同様に育鵬社は3点と23点となっております。

以上のことから、学校調査会としては優位性がある2者は東京書籍と日本文教出版であり、そのうち特に優位性があるのは東京書籍という結果となっております。

両調査会の調査結果は特に優位性があるのは東京書籍で一致しておりますが、優位性のあるもう1者については一致しておりません。専門調査会において学校調査会の調査結果に関わらず、帝国書院を優位性のある発行者とした理由についてご説明いたします。

総評欄でございますが、帝国書院の大きな特徴は2の2でございますが、内容の取扱いという点で優れていると評価しております。また、学校調査会の結果におきましても、特に優れている点の合計点数は日本文教出版が1点、帝国書院を上回っておりますが、特に工夫・配慮を要する点の合計点数は帝国書院が2点、日本文教出版を下回っており、総合的に見れば帝国書院に優位性があると判断いたしました。

以上、発行者ごとの優位性についてご説明申し上げました。

【部会長】

ありがとうございました。

ここに優位性のある2者を前提に審議したいと思います。東京書籍は1位だということは専門調査会と学校調査会とも一致していましたが、2位というのが専門調査会が帝国書院で学校調査会が日本文教出版、ただ、それも学校調査会の調査結果を聞きましたら、帝国書院か日本文教出版で、特に工夫・配慮を要する点が帝国が2点で日本文教出版は4点、だから、帝国のほうがマイナスポイントが少ないというところも加味して、専門調査会としては第2位は帝国と、そういうご説明でよろしかったでしょうか。

【代表調査員】

はい。

【部会長】

ただいまの分も含めまして、ご説明に対するご意見を頂戴したいと思います。

【委員】

先ほどと同じになりますが、今の教科書と今度採択する教科書とは別とはいうものの、現行の大阪市が採用している育鵬社の評価が今回専門調査会のほうも学校現場のほうもかなり低いということなので、今使っているものの課題等があるのかなというのを少し感じましたので、これも併せて整理していただければと思っております。

【部会長】

先に、専門調査会よりの説明では総評が1対4でしたでしょうか。現在使用している教科書会社のものですが評価が低いことについていかがでしょうか。

【代表調査員】

より学習効果が上がって、生徒の主体的・対話的な深い学びが進められるという観点を重視して、専門調査会のほうでは各教科書を見せていただいております。総評に少し記入もさせていただいているものもありますが、やはり主体的な学びを進めるためには生徒の興味関心を引くような題材、テーマが課題解決学習の中で必要だと思ひまして、その課題解決学習等の主体的・対話的な深い学びによりよい題材を提供している教科書から順位が上のほうを特に優れているという形にさせていただいて、このような結果になっているということでございます。

【部会長】

ありがとうございました。

主体的・対話的で深い学びの観点で言えば、1の3の観点になろうかと思いますが、ここでの具体的な例で、育鵬社は47ページの内容などを取り上げていただいておりますけども、この点についても説明いただけますでしょうか。

【代表調査員】

育鵬社の47ページをご覧ください。ここ、国民の義務であったりとか、基本的人権の公共の福祉による制限についての項目でございまして。その中に学習を深めようというコラム欄がございまして、そこに更生保護を支える人々という記述がございまして。他者ではこの国民の義務などは、納税の義務であったり取上げが多いと思うんですが、育鵬社1者だけ、この更生保護というテーマでの記述になっております。今、少年法であったりとか、様々なことをテーマに考えて挙げておられると思うんですが、なかなか中学3年生の生徒の理解という点でいうと、あまり身近なテーマではないのでは

ないかと、この更生保護を支える人々のところは感じるところでございまして、配慮を要するというふうに書かさせていただいております。

【部会長】

身近に感じられる資料ではないので、いわゆるディベートなどにつながるは難しいのではないかと
いうことでしょうか。ありがとうございます。

それ以外にございましたら。

【委員】

先ほどのご説明の中にも子どもたちが主体的に学習をするということを非常に重んじているという話を伺いました。帝国書院と日文のほうを比べたときに、帝国のほうは課題を要するもの、総評のところとしてその1の3、主体的に学習するのは配慮を要するというふうに書かれています。逆に日文のほうは総評のところ、1の3が特に優れている点として挙がっています。そのようなところがあるのですが、2番目に推薦するところは帝国だというふうに言われるということで、その主体的に学習するところの帝国と日文とのその評価というのは、どのような感じで捉えていらっしゃるのか、もう少しお聞きできたらと思うんですが。

【代表調査員】

同じテーマで、帝国書院のほうの19ページと20ページをご覧ください。帝国書院のほうの19ページをご覧くださいますと、効率と公正とか、対立と合意というテーマのページなんですが、上の段の話合い活動のテーマとして、帝国書院の19ページのほうは防災備蓄倉庫の新設を考えてみようというテーマでございまして。これは確かに身近な地域の防災について子どもたちに倉庫をどこに設置すればよいかという、考えさせるという非常に意義はあるテーマだとは思いますが、中学3年生の生徒に防災備蓄倉庫の新設というテーマが身近に感じるかどうかというところを少し疑問には感じる
ところなんです。

同じテーマで日本文教出版さんは、26ページ、27ページをご覧ください。26、27のところには同じこの対立と合意や効率と公正というテーマなんですが、日本文教出版さんのほうは合唱コンクールという生徒に身近なテーマを基に課題解決学習のテーマを選定してございまして、この点で見れば日本文教出版さんのほうが1の3の項目については優位性があるとは思われます。ただ、ほかの観点で見た場合、帝国さんのほうの優位性を専門調査会としては評価してございまして、東京書籍に次ぐ優位性があるものは帝国書院だというふうにご覧しております。

【部会長】

ありがとうございます。ほかにご質問ございましたらお願いいたします。 よろしい
でしょうか。それでは2者に絞り込む必要がございまして、2位と3位が近接していますけれども、1
位が東京書籍、2位の帝国書院ということで審議を進めさせていただくことでよろしいでしょうか。

(委員全員うなづく)

それでは、この2者に絞ってご説明をお願いしたいと思いますけれども、どの教科書のどのページかというのを
お示しいただいてからご説明をよろしくお願いいたします。

【代表調査員】

それでは、資料3の20ページをご覧ください。総評欄でございまして、東京書籍の大きな特徴は1の3でござい
ます。東京書籍の24ページから31ページをご覧ください。

東京書籍の大きな特徴1の3でございまして、各単元で生徒がより自分自身に身近な出来事として捉えられるように、この24ページにござい
ますような、24、25ページにつながるんですが、部

活動についてなど中学生の日頃の生活の中で見られるような場面から課題設定が行われております。生徒が興味関心を持っており、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されております。

また、各単元のまとめの活動にその単元で学習した内容を整理するための具体的な考え方や話合いの方法が示されているので、習得した知識を活用して、考えを自他両方の点から深めることができるように工夫されているという点で優れていると評価をしております。

24ページ、25ページに部活動をテーマに取り上げての課題設定、その後、26ページ、27ページ以降にこのような形でトラブルを解決していけばいいんじゃないかという例示がされており、最終28、29、31ページまでこのような形での話合いを進めていく中で、課題解決学習ができるような編集になっておりまして、優れていると評価をしております。

続いて、資料3の22ページをご覧ください。帝国書院の大きな特徴は2の2でございます。帝国書院の91ページ、92ページをご覧ください。帝国書院の大きな特徴は2の2でございます。章ごとに設定されている問いを課題として解決することを通して、個人の尊厳や人権の尊重の意義を広い視野から正しく認識し、個人と社会の関わりについての理解を深めることができるよう、配慮されているという点で優れていると評価をしております。

両者の評価で違いが見られるのが1の3の観点でございます。先ほどの24ページからの部活動のテーマのように、東京書籍は各単元で生徒がより自分自身に身近な出来事として捉えるように、中学生の日頃の生活の中で見られるような場面などから課題設定が行われており、生徒が興味関心を持って、より主体的に学習に取り組むことができるように工夫されているのに対し、帝国書院は先ほどの19ページ、20ページのように、各単元において内容をより深く学習するための様々な資料が掲載はされておりますが、生徒が主体的に学びたいと思えるような中学生に身近な資料や課題が少なく、生徒がより主体的に学習するためには配慮を要するとされております。

以上のことから、東京書籍を特に優位性のある発行者としたところでございます。

私からの説明は以上でございます。

【部会長】

ありがとうございました。ただいまの説明に対してご意見・ご質問がございましたらよろしく願いいたします。

よろしゅうございますでしょうか。

(委員全員うなづく)

それでは、公民につきましては1位が東京書籍、2位が帝国書院でお願いいたします。ありがとうございました。

この後、次は数学ですが、数学に移る前に休憩を入れさせていただきたいと思っております。今は3時35分ですので、3時45分に再開とさせていただきたいと思っております。皆さん、お揃いになりましたならば開始させていただきたいと思っております。

(休憩)

【部会長】

では、皆さん、お揃いのところで審議を行います。

次は、数学からです。よろしく願いいたします。

【代表調査員】

失礼いたします。数学の専門調査会の代表調査員を務めます佃中学校の校長の中西啓です。よろしく願いいたします。

まず、資料2の9ページをご覧ください。数学の重点化した観点は番号に丸をした5点でございます。確認のほうをよろしく願いたします。

次に、資料3の28ページの専門調査会の調査結果をご覧ください。数学の発行者は7者でございます。

それでは、資料に沿って順にご報告いたします。

まず、東京書籍の調査結果でございます。総評の欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は1の3、2の2、2の3、2の6、3の6の5点といたしました。特に工夫・配慮を要する点はありません。なお、東京書籍は今後デジタル教科書を発行する予定がございます。また、東京書籍は本市で現在使用している発行者でございます。ご確認のほうをよろしく願いたします。

次に、大日本図書の調査結果でございますが、総評の欄の重点化した観点の5点のうち、特に優れている点は1の3、2の3、2の6、3の6の4点といたしました。特に工夫・配慮を要する点は2の2の1点といたしました。なお、大日本図書は今後デジタル教科書を発行する予定がございます。

次のページに移っていただきたいと思っております。次に、学校図書の調査結果でございますが、総評の欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は1の3、2の2、2の3、2の6の4点といたしました。特に工夫・配慮を要する点は3の6の1点といたしました。なお、学校図書は今後デジタル教科書を発行する予定がございます。

それでは、次に移ります。次に、教育出版の調査結果でございますが、総評の欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は1の3、2の3、2の6、3の6の4点といたしました。特に工夫・配慮を要する点は2の2の1点といたしました。なお、教育出版は今後デジタル教科書を発行する予定がございます。

次に移ります。次に啓林館の調査結果でございますが、総評の欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は1の3、2の2、2の3、2の6、3の6の5点といたしました。特に工夫・配慮を要する点はありません。なお、啓林館は今後デジタル教科書を発行する予定がございます。

次に移ります。次に数研出版の調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は1の3、2の2、2の3、2の6の4点といたしました。特に工夫・配慮を要する点は3の6の1点といたしました。なお、数研出版は今後デジタル教科書を発行する予定がございます。

次に移ります。次に日本文教出版の調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は2の2、2の3、2の6、3の6の4点といたしました。特に工夫・配慮を要する点は1の3の1点といたしました。なお、日本文教出版は今後デジタル教科書を発行する予定がございます。

以上のことから、専門調査会としては優位性がある2者のうち1者は、特に優れている点が5点の啓林館です。もう1者は同じく特に優れている点が5点の東京書籍です。両者に関しましては、重点化した観点は同数ですが、それも含めた観点全体で見ると、東京書籍は特に優れている点が5点、特に工夫・配慮を要する点がなしであるのに対し、啓林館は特に優れている点が7点、特に工夫・配慮を要する点がなしという結果になりました。

以上のことから、啓林館が特に優位性があるといたしました。

次、資料4の7ページの学校調査会集計結果の数学をお開きください。下から4行目の重点化した観点計でございます。東京書籍は特に優れている点が34点、特に工夫・配慮を要する点が3点となっております。同様に大日本図書は31点と5点、学校図書は25点と10点、教育出版は27点と

9点、啓林館は36点と3点、数研出版は33点と11点、日本文教出版は23点と8点となっております。

以上のことから、学校調査会としては優位性がある2社は東京書籍と啓林館であり、そのうち優位性があるのは啓林館という結果となっております。

両調査結果は啓林館と東京書籍で一致となっております。

【部会長】

ありがとうございました。

ただいま優位性のある2者の説明についてご審議いただいております。ただいまの説明に対しましてご質問、ご意見がありましたならば、お願いいたします。

それでしたならば、専門調査会の報告では東京書籍と啓林館が特に優れている点が多いということで優位性がある2者であり、学校調査会の報告と一致しているということでよろしいでしょうか。

(委員全員うなずく)

それでは、この2社の優位性について説明いただきたいと思えます。

専門調査会におかれましては、教科書の何ページかを示したうえでご説明いただきますようお願いしたいと思っております。

それでは、よろしくお願ひします。

【代表調査員】

それでは、資料3の32ページをご覧ください。総評欄でございますが、啓林館の大きな特徴は2の2の項目でございます。巻末にある学びを生かそう、力をつけようでは、基礎的な内容を振り返り、入試問題も含めて様々な問題に取り組める内容となっております。

教科書の巻末のほうを見ていただきたいと思えます。これは3学年ともです。

非常に問題が豊富に掲載されております。他の教科書等を見ていただくとお分かりだと思えますけれども、特にこの巻末に関しましては、かなり簡略化されているところもございまして、ここまでしっかりと巻末のところで、手厚く問題等、それも入試問題も含めて、こういうように示しているという教科書というのがこの啓林館の特徴であるというふうに判断しております。

次、28ページのほうをご覧ください。東京書籍の欄でございます。東京書籍の優位性のある大きな特徴というのは、1の3でございまして、特に1年生の20ページから28ページ、そして8ページ、14ページなどをちょっと参考にしていただけたらありがたいです。よろしいでしょうか。まず、20ページの部分です。表記などについても単元での学習目標がはっきり示されております。また、インデックスをつけ、ページを探しやすくなどしている。そして、例題問題を順序よく配列して、自学自習がしやすくなっております。そういう特徴がございます。

次に、8ページ、そして、14ページなどを見ていただきたいんですけども、ノートの作成を手助ける記述などがございます。こういう点で東書には特徴がございます。

以上、啓林館と東京書籍につきましては、この2点につきまして特徴があるということで、皆様のほうにご報告申し上げます。

次に、両者の評価で違いが見られるところでございます。それは2の4でございまして、調査の観点の9ページ、2の4のほうをご覧ください。これは丸はついてない分になりますが、数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし総合的・発展的に考察する力を養うことができるように配慮されているかという点でございまして、この分につきまして、この2者は、大きな違いがございます。

啓林館は数学を活用して事象を論理的に考察する力や、生徒が数学的活動に関心を持って取り組めるよう工夫されています。例えば、利用できる場所として、1年生の99ページ、2年生の84ページ、あとは3年生の79ページに、場面が設定されていますのでご覧ください。

東京書籍に関しましては、これに関して、さしたる優れている点はなく見当たらないということで、啓林館のほうに優位性があるというふうに判断しております。

【部会長】

ありがとうございました。

今の説明ですけれど、東京書籍には、このような利用場面というのでしょうか、こういった活用にあたるものがないということでしょうか。

【代表調査員】

はい。

【部会長】

そこが違いですね。

【代表調査員】

はい。

【部会長】

ありがとうございます。

それでは、ただいまの説明に対しまして、ご質問がございましたら、よろしくお願いたします。

【委員】

失礼します。啓林館の巻末なんですけど、少しページが変わって、見開きが違うような形になっていますが、使い勝手としてはどうでしょうか。これも自主学習的にやっていくのか、授業で進めるに当たって、使い勝手的にはどうなのでしょう。

【代表調査員】

使い勝手的にいいますと、もちろん、教科書ですから、授業で進める形がいいと思われれます。入試問題も含めまして、テストといったものに慣れてもらうということも含めて、練習の1つになるのではというふうには判断しています。

【部会長】

ほかのご質問がございましたら、どうぞお願いたします。よろしゅうございますか。

(委員全員うなづく)

それでしたら、数学に関しましては啓林館と東書、これらが優位性がある2者ということでよろしくお願いたします。

それでは、数学の審議を終了したいと思います。ありがとうございました。

続いて、理科の審議に移ります。よろしくお願いたします。

【代表調査員】

失礼します。理科の専門調査会の代表調査員を務めます東淀中学校長、大政でございます。よろしくお願いたします。

まず、資料2、調査の観点の10ページをご覧ください。理科の重点化した観点は番号に丸をした5点でございます。

次に、資料3、専門調査会調査結果の35ページをご覧ください。理科の発行者は5者でございます。

それでは、その資料に従って順にご報告いたします。

まず、東京書籍の調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は2の2、2の3、2の5、3の6の4点、特に工夫・配慮を要する点は1の3の1点といたしました。なお、東京書籍は今後デジタル教科書を発行する予定がございます。

次に、大日本図書の調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点を5点のうち、特に優れている点は1の3、2の2、2の5の3点、特に工夫・配慮を要する点は2の3、3の6の2点といたしました。なお、大日本図書は今後デジタル教科書を発行する予定がございます。

続いて、学校図書の調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は1の3、2の5の2点で、特に工夫・配慮を要する点は2の2、2の3、3の6の3点といたしました。なお、学校図書はデジタル教科書を発行する予定がございます。

続いて、教育出版の調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は2の3、2の5の2点、特に工夫・配慮を要する点は1の3、2の2、3の6の3点といたしました。なお、教育出版は今後デジタル教科書を発行する予定がございます。

最後の啓林館の調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点は5点のうち、優れている点は全ての5点、1の3、2の2、2の3、2の5、3の6の5点にしました。特に工夫・配慮を要する点はありませんでした。なお、啓林館は今後デジタル教科書を発行する予定がございます。また、啓林館は本市で現在使用している発行者でございます。

以上のことから、専門調査会では優位性がある2社は特に優れている点が5点の啓林館と4点の東京書籍であり、そのうち特に優位性があるのは啓林館という結果となりました。

次に、資料4、学校調査会集約結果の8ページ、理科をお開きください。下から4行目の重点化した観点計でございますが、東京書籍は特に優れている点が42点、特に工夫・配慮を要する点が12点となっております。同様に大日本図書は21点と23点、学校図書は35点と12点、教育出版は22点と16点、啓林館は45点と11点となっております。

以上のことから、学校調査会では優位性のある2者は東京書籍と啓林館であり、そのうち特に優位性があるのは啓林館という結果となっております。

両調査会の調査結果は優位性がある2者が啓林館と東京書籍で一致した結果となっております。

以上、発行者ごとの優位性についてご説明申し上げます。

【部会長】

ありがとうございました。

それでは、優位性のある2者についてご審議したいと思います。専門調査会の報告では、啓林館と東京書籍が優位性のある2社ということでしたけれども、ご意見、ご質問がございましたらよろしくお願ひいたします。

特にご意見、ご質問はございませんでしょうか。それでしたらば、ただいまの東京書籍と啓林館の2者につきまして内容に関しての審議に移ってまいります。

それでは、事務局からのご説明をお願いいたします。

【代表調査員】

それでは、資料3の35ページをご覧ください。総評欄でございますが、東京書籍の大きな特徴は2の5でございます。東京書籍の教科書1年生60ページのように、科学の歴史に漫画を取り入れている点、教科書に全域にわたることですが、あらゆる場面においてイラスト、人物の吹き出しからヒントを得られる点が工夫されており、関わりやすく、考えやすいという点で優れていると評価して

おります。

次に、資料3の39ページをご覧ください。啓林館の大きな特徴は2の5でございまして、啓林館の教科書、各学年の教科書の巻末につけてあります探Qシートです。探Qシートは各単元の観察、実験の1つを探求実験と定めており、探求する過程を示して、探求する態度を養うことができる点が優れている点と評価しております。

両者の評価の違いで見られるのは、35ページと39ページからしまして、1の3でございます。1の3では、啓林館が2年、145ページのように話し合ってみよう、考えてみようなどの計画や予想などの活動に仮説などのテーマを添えて、理科の見方、考え方を働かせながら、主体的に対話的で深い学びつなげるようにしているのに対し、東京書籍2年、19ページのように、課題の提示はあるもののグループワーク、対話的学習の部分が自分の考えをノートにまとめて、ほかの人と比べてみようという記載があるのみとされております。

以上のことから、啓林館を特に優位性のある発行者としたところでございます。

私からの説明は以上です。

【部会長】

ありがとうございました。

ただいまの説明に対しまして、ご意見、ご質問はございますでしょうか。

【委員】

資料3の35ページの東書のほうの特に工夫・配慮を要する点にも書かれていますが、この教科書の形が縦長でわりと細身で少し扱いづらいのかなという印象は確かにありました。

【部会長】

ほかに、ご質問、ご意見はございますでしょうか。

【委員】

啓林館のほうなんですけれど、このQRコードはどのように活用できるのでしょうか。

【代表調査員】

例えば授業のタブレットで読み取るというような形であるとか、逆に教師のほうでこれを読み取って、プロジェクター等で映し出すということができるといったことになります。デジタル教科書になると、こういうのは必要ないかと思うんですが、この紙の教科書でいえば、そういった部分も活用されると思っております。

【委員】

東京書籍には、どうでしょうか。

【代表調査員】

東書にはなかったかと思えます。

【部会長】

ありがとうございます。そこが啓林館と東京書籍の違いというところになるのでしょうか。ほかにご質問、ご意見はどうでしょうか。よろしいでしょうか。

(委員全員うなづく)

ありがとうございます。それでしたら、理科に関しましては、啓林館と東京書籍を優位性のある2者ということで事務局からの報告のとおりとしたいと思います。

それから、続きまして、音楽です。音楽は一般と器楽に分かれております。両方とも2者でございますので、優位性の審議は行いませんから、事務局は一括してご説明いただきたいと思えます。事務

局におかれましては発行者ごとの説明をしていただく際には、教科書の何ページかというのをまず言っていたから、ご説明いただきますよう、よろしくお願いいたします。

それでは、ご説明お願いいたします。

【代表調査員】

それでは、失礼いたします。音楽の専門調査会の代表調査員を務めます十三中学校の校長、屋島です。よろしくお願いいたします。

まず、資料2、調査の観点の11ページをご覧ください。音楽一般の重点化した観点は番号に丸をした5点でございます。

次に、資料3の40ページの専門調査会調査結果をご覧ください。音楽一般の発行者は2者でございます。

それでは、資料に沿って順にご報告いたします。

まず、教育出版社の調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は2の3、2の5の2点、特に工夫・配慮を要する点は1の3、2の2、3の6の3点といたしました。なお、教育出版社は今後デジタル教科書を発行する予定がございます。

次に、教育芸術社の調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は1の3、2の2、2の3、2の5の4点、特に工夫・配慮を要する点は3の6の1点といたしました。なお、教育芸術社は現在デジタル教科書を発行しております。また、教育芸術社は本市で現在使用している発行者でございます。

以上のことから、専門調査会としては優位性があるのは、特に優れている点が4点の教育芸術社という結果となりました。

次に、資料4の9ページ、学校調査会集約結果の該当ページの学校調査会集計結果の音楽一般をお開きください。下から4行目の重点化した観点計でございますが、教育出版社は特に優れている点が35点、特に工夫・配慮を要する点が7点となっております。同様に教育芸術社は54点と6点となっております。

以上のことから学校調査会としては教育出版社と教育芸術社のうち、優位性があるのは教育芸術社という結果となっております。したがって、両調査会の調査結果は特に優位性があるのは教育芸術社とすることで一致しております。

以上、発行者ごとの優位性について説明申し上げます。

それでは、資料3の41ページをご覧ください。総評欄でございますが、教育芸術社の大きな特徴は1の3でございます。吹き出しの会話から深い学びを得られるという点で優れていると評価しております。教育芸術社の教科書の2、3年上P29をご覧ください。こちらのほうに吹き出しのほうが表示されております。ほかのページでも同様に吹き出しが書かれてありまして、学びを深める上では効果があるというふうに判断しております。

資料3の40ページをご覧ください。教育出版社の大きな特徴は2の3でございます。対話的活動に取り組みやすい、ワークシートがあるという点で優れていると評価しております。教育出版社の教科書の2、3年生上P26をご覧ください。

次に、両者の評価で違いが見られるのは1の3でございます。教育芸術社が対話的活動に取り組みやすい内容であるのに対し、教育出版社が対話的な活動のヒントにつながる内容が少なくなっています。

以上のことから、教育芸術社を特に優位性のある発行者としたところでございます。

私からの説明は以上です。

【部会長】

ありがとうございました。

ただいまのご説明に関しまして、ご意見、ご質問はございますでしょうか。

いずれにしても2者しかございませんので、優位性のある2者についてはこの2者となります。

それでは、続いて音楽器楽のご説明をお願いいたします。

【代表調査員】

失礼いたします。音楽の専門調査会の引き続き、代表を務めています十三中学校の屋島でございます。よろしくお願いいたします。

まず、資料2、調査の観点の12ページをご覧ください。音楽器楽の重点化した観点は番号に丸をした4点でございます。

次に、資料3の42ページの専門調査会調査結果をご覧ください。音楽器楽の発行者は2者でございます。

それでは、資料に沿って順にご報告いたします。

まず、教育出版社の調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点4点のうち、特に優れている点は2の6の1点、特に工夫・配慮を要する点は1の3、2の1、3の6の3点でございます。なお、教育出版社は今後デジタル教科書を発行する予定がございます。

次に、教育芸術社の調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点4点のうち、特に優れている点は1の3、2の1、2の6の3点、特に工夫・配慮を要する点は3の6の1点といたしました。なお、教育芸術社は現在デジタル教科書を発行しています。また、教育芸術社は本市で現在使用している発行者でございます。

以上のことから、専門調査会としては優位性があるのは、特に優れている点が3点の教育芸術社という結果となりました。

次に、資料4の10ページの学校調査会集計結果の音楽器楽をお開きください。下から4行目の重点化した観点計でございますが、教育出版社については特に優れている点が28点、特に工夫・配慮を要する点が5点となっております。同様に教育芸術社は41点と5点となっております。

以上のことから、学校調査会としては教育出版社と教育芸術社のうち、特に優位性があるのは教育芸術社という結果となっております。

したがって、両調査会の調査結果は特に優位性があるのは教育芸術社とすることで一致しております。

以上、発行者ごとの優位性についてご説明申し上げます。

それでは資料3の43ページをご覧ください。総評欄でございますが、教育芸術社の大きな特徴は1の3でございます。吹き出しの言葉をヒントに主体的・対話的な活動を取り入れたアンサンブル活動ができる点で優れていると評価しております。

教科書のほう、教育芸術社、器楽の15ページをご覧ください。ほかのページにも同じように吹き出しはありますが、よろしいでしょうか。

続きまして、42ページをご覧ください。教育出版社の大きな特徴は2の6でございます。世界のいろいろな器楽を最初のページで紹介することで親しみが持てるという点で優れていると評価しております。教育出版社の器楽の口絵をご覧ください。

次に、両者の評価で違いが見られるのは1の3でございます。教育芸術社が対話的活動に取り組

みやすい内容であるのに対し、教育出版社が対話的な活動のヒントにつながるものが少なくなっております。教育芸術社15ページと教育出版社41ページをご覧ください。

以上のことから、教育芸術社を特に優位性がある発行者としたところでございます。

私の説明は以上でございます。

【部会長】

ありがとうございました。

ただいまの説明に関しまして、ご意見、ご質問がございましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか、何かご意見、ご質問はないですか。

なければ、音楽器楽はこの二者が優位性のある二者として、この審議については以上で終了したいと思っております。ありがとうございました。

それでは美術について、事務局より説明をお願いいたします。

【代表調査員】

失礼いたします。美術の専門調査会の代表調査員を務めます春日出中学校の校長の本田妙子です。よろしく申し上げます。

まず、資料2の13ページをご覧ください。美術の重点化した観点は番号に丸をした5点でございます。

では、次に、資料3の44ページ、専門調査会調査結果をご覧ください。

美術の発行者は3者でございます。

それでは、資料に沿って順にご報告いたします。

まず、開隆堂の調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は1の3、2の3、2の5、3の6の4点、特に工夫・配慮を要する点は2の2の1点といたしました。なお、開隆堂は今後デジタル教科書を発行する予定がございます。

次に、光村の調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は1の3、2の2、2の3、2の5の4点、特に工夫・配慮を要する点は3の6の1点といたしました。なお、光村は今後デジタル教科書を発行する予定はございません。

専門調査会といたしましては、開隆堂と光村につきまして、重点化した観点の特に優れている点の数は同数であります。重点化した観点以外の観点も含め、特に優れている点に挙がっている観点の数を比較したところ、開隆堂が8点、光村が9点となりますので、光村に優位性があるとしています。

最後に日文の調査結果でございます。総評欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は1の3、2の2、2の3、2の5、3の6の全て5点といたしました。なお、日文は今後デジタル教科書を発行する予定がございます。また、日文は本市で現在使用している発行者でございます。

以上のことから、専門調査会としては優位性がある二者は、特に優れている点が5点の日文と4点の光村であり、そのうち特に優位性があるのは日文という結果となりました。

次に、資料4、11ページの学校調査会集計結果の美術をお開きください。下から4行目の重点化した観点計でございますが、開隆堂は特に優れている点が26点、特に工夫・配慮を要する点が12点となっております。同様に光村は36点と6点、日文は38点と3点となっております。

以上のことから、学校調査会としては優位性がある二者は光村と日文であり、そのうちやや優位性があるのは日文という結果となっております。

両調査会の調査結果は優位性のある二者について、両調査会で一致している結果となっております。

以上、発行者ごとの優位性についてご説明申し上げます。

【部会長】

ありがとうございました。

それでは、優位性のある2者の選定について審議したいと思います。提案としては光村と日文ということですが、ご意見、ご質問はございますでしょうか。

それでは、優位性のある2者というのは光村と日文ということで、事務局よりご説明をお願いしたいと思います。なお、教科書について、どの教科書のどのページかまずおっしゃっていただいてから、ご説明いただきますようお願いいたします。

【代表調査員】

それでは、資料3の45ページをご覧ください。光村の教科書2、3年生16ページをお開きください。総評欄でございますが、光村の大きな特徴は1の3でございまして、題材のはじめに表現につながる鑑賞から入り、表現につなぐ、生徒に対話を促す問いが対応されているという点で優れていると評価しております。

先ほど申しました2、3年生16ページの題材、このように各題材の入り口で鑑賞して表現、そして鑑賞というスタイルでございます。そして、問いかけるような言葉、なぜこの作品から不思議な印象を受けるのだろうかというふうになっております。この内容はほかのページも同様でございます。

次に、資料2の46ページをご覧ください。先に特徴をご説明申し上げます。日文の大きな特徴は観点の2の2でございまして、造形的な視点について理解できるよう配慮されているという点です。

では、1年生の16ページをお開きください。下のほう、吹き出しのところに作者の表したいことと、構図や色の使い方に着目してみようとなります。こちらが造形的な視点について吹き出しで分かりやすい言葉で示されている点の例でございます。この点、優れていると評価しております。これはほかの題材も同じです。

なお、この造形的な視点は今回の学習指導要領の改定で美術の目標の改善に挙げられているところでございます。この視点を豊かに持って、対象や事象を捉え、創造的に考えをめぐらせる資質、能力の育成を一層重視するとされております。

次に、両者の評価で違いが見られるのは3の6でございます。学習した内容の確実な習得という点で、各題材の目標の示し方が異なっております。光村1年生の10ページをお開きください。光村は題材ごとの目標を上記のほうにありますように、表現と鑑賞の2領域ごと、領域ごとの2観点で示しています。

では、日文の1年生8ページをお開きください。日文は目標を、8ページの下のところの説明にありますように、育成すべき資質、能力の知識及び技能、思考力、判断力、表現力と学びに向かう力、人間性の3観点で示しております。8ページは説明でございまして、題材の例としまして、14ページの上をご覧ください。具体的に3つの目標が示されています。これは今回の学習指導要領の改定にあります育成を目指す資質、能力の明確化に伴い、目標及び内容を再整理した3つの柱と同じです。このことにより、実際の授業での活用を想定しますと、日文のほうが学びの目標、つまり育成すべき資質、能力の表示が分かりやすく、学習の内容が確実に身につくと判断しました。

以上のことから、日文を特に優位性のある発行者としたところでございます。

私からの説明は以上です。

【部会長】

ありがとうございました。

ただいまの説明に対して、ご意見、ご質問はいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(委員全員うなずく)

それでは、美術におきましては日文と光村が優位性のある2者ということで、お願いいたします。

次に保健体育の審議に移りたいと思います。

【代表調査員】

失礼いたします。保健体育の専門調査会の代表調査員を務めます三国中学校長の山岡伸一です。

まず、資料2、調査の観点の14ページをご覧ください。保健体育の重点化した観点は番号に丸をした4点でございます。

次に、資料3、令和3年度使用教科用図書選定に係る専門調査会調査結果、第1地区の47ページの専門調査会調査結果をご覧ください。

保健体育の発行者は4者でございます。それでは、資料に沿って、順にご報告いたします。

まず、東書の調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点4点のうち、特に優れている点は1の3、2の2、2の4、3の6の4点、特に工夫・配慮を要する点はございませんでした。なお、東書は今後デジタル教科書を発行する予定がございます。また、東書は本市で現在使用している発行社でございます。

次に、大日本の調査結果でございます。総評欄の重点化した観点4点のうち、特に優れている点は1の3、2の4の2点、特に工夫・配慮を要する点は2の2、3の6でございます。なお、大日本は今後デジタル教科書を発行する予定がございます。

次に、大修館の調査結果でございます。総評欄の重点化した観点4点のうち、特に優れている点は1の3、2の4の2点、特に工夫・配慮を要する点は2の2、3の6でございます。なお、大修館は今後デジタル教科書を発行する予定でございます。

次に、学研の調査結果でございます。総評欄の重点化した観点4点のうち、特に優れている点は1の3、2の4、3の6の3点、特に工夫・配慮を要する点は2の2でございます。なお、学研は今後デジタル教科書を発行する予定がございます。

以上のことから、専門調査会としては優位性がある2者は特に優れている点が4点の東書と3点の学研であり、そのうち特に優位性があるのは東書という結果になりました。

次に、資料4の12ページの学校調査会集計結果の保健体育をお開きください。下から4行目の重点化した観点計でございますが、東書は特に優れている点が30点、特に工夫・配慮を要する点が4点となっております。同様に大日本は9点と11点、大修館は23点と3点、学研は29点と3点となっております。

以上のことから、学校調査会としては優位性がある2社は東書と学研であり、そのうち特に優位性があるのは東書という結果となっております。

両調査会の調査結果は東書と学研で一致しております。

以上、発行者ごとの優位性についてご説明申し上げます。

【部会長】

ありがとうございました。

優位性がある2者につきましてご意見、ご質問がございましたら、よろしくお願いいたします。よろしいでしょうか。

それでしたらば、お手元に東京書籍と学研の教科書をご用意いただきますようお願いしたいと思います。事務局におかれましては教科書のどのページかというのをまずお伝えいただいてから、ご説明

いただきますようお願いいたします。

【代表調査員】

それでは、東書の説明をさせていただきます。総評欄でございますが、東書の大きな特徴は1の3でございます。思考力、判断力、表現力が育まれるような授業の流れが設定されているという点で優れていると評価しております。

教科書のページ数ですが、99ページを開けていただけますでしょうか。このページでは進行の仕方が明確であり、生徒の思考の流れが分かりやすく、思考力、判断力、表現力が育まれるような授業の流れが設定されています。また、対話を促し、表現活動を進めるような発問が随所にあると思われま

す。また、Dマークの説明ですが、口絵の9ページを開けていただけますでしょうか。デジタルコンテンツ、内容一覧というページがありまして、ここのDマークというところのQRコードを読みますと、自分で自ら学習を進めていくというところの大きな参考になる資料になっております。

次に、学研の大きな特徴は2の4でございます。これからの時代に即した共生、健康観、自他の健康問題、多様性の尊重、がん治療などという点で優れていると評価しております。

両者の評価で違いが見られるのは2の2の項目でございます。東書が運動スポーツへの多様な関わりについて、する・見る・支える・知るという観点や、運動の効果、学び方についてははっきりと説明されている点が特徴であるのに対し、学研が課題を解決する過程において生活を振り返ることや他者に伝える活動を取り入れることが難しい面があると評価しております。

学研のほうの63ページを開けていただけますでしょうか。ここにはイラスト等がたくさんありますが、生徒にとってこのイラストのページを見るだけではイメージがしにくいであるというような評価をしております。

以上のことから、東書の特に優位性のある発行者としたところでございます。私からの説明は以上で終わらせていただきます。ありがとうございました。

【部会長】

ありがとうございました。

ただいまの説明に対しまして、ご意見、ご質問はございますでしょうか。よろしいでしょうか。

(委員全員うなづく)

それでは、保健体育につきましては東京書籍と学研を優位性のある2者ということで、お願いいたします。

それでは、引き続きまして、技術に移ってまいります。それでは事務局より説明をお願いいたします。

【代表調査員】

失礼します。技術の専門調査会の代表調査員を務めます築港中学校長、西本です。

まず、資料2、調査の観点の15ページをご覧ください。技術の重点化した観点は番号に丸をした5点でございます。

次に、資料3、専門調査会調査結果の51ページをご覧ください。技術の発行者は3者でございます。

それでは、資料に沿って順にご報告いたします。

まず、東京書籍の調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点の5点のうち、特に優れている点は1の3、2の2、2の3、2の5、3の6の5点、特に工夫・配慮を要する点はありませんで

した。なお、東京書籍は今後デジタル教科書を発行する予定でございます。また、東京書籍は本市で現在使用している発行者でございます。

2つ目は教育図書の調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は1の3、2の3、3の6の3点、特に工夫・配慮を要する点は2の2、2の5の2点といたしました。なお、教育図書は今後デジタル教科書を発行する予定でございます。

3つ目は開隆堂の調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は1の3、2の3、2の5、3の6の4点、特に工夫・配慮を要する点は2の2の1点としました。なお、開隆堂は今度デジタル教科書を発行する予定でございます。

以上のことから、専門調査会としては優位性がある2者は、特に優れている点が5点の東京書籍と4点の開隆堂であり、そのうち特に優位性があるのは東京書籍という結果となりました。

次に、資料4、学校調査会集約結果の13ページ、技術をお開きください。下から4行目の重点化した観点計でございますが、東京書籍は特に優れている点が51点、特に工夫・配慮を要する点が4点となっております。同様に教育図書は23点と15点、同様に開隆堂は27点と16点となっております。

以上のことから、学校調査会としては優位性がある2者は東京書籍と開隆堂であり、そのうち特に優位性があるのは東京書籍という結果となっております。

両調査会の調査結果は一致しています。

【部会長】

ありがとうございました。

それでは、優位性のある2者についてご意見、ご質問をうかがいたいと思います。専門調査会の提案は東京書籍と開隆堂でございました。この点につきまして、何かご意見、ご質問はございますでしょうか。

なければ、続きまして、東京書籍と開隆堂の内容について説明をお願いします。

教科書の何ページかを示していただいてからご説明いただきたいと思います。よろしく願いいたします。

【代表調査員】

それでは、資料3、専門調査会調査結果の51ページをご覧ください。総評欄でございますが、東京書籍の大きな特徴は1の3でございまして、技術分野の学習過程が、巻頭の12ページ、13ページでございますように、技術の最適化、問題解決のプロセスに示されている。また、各題材とも生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、技術によって問題を解決する力を養う内容が取り上げられ、深い学びにつながるという点で優れていると評価しております。

ほかにも18ページ、19ページにありますように、身の回りの製品に使われている材料について、製品の強度や耐久性、安全性、費用、環境への負荷などを考慮して選ばれ、材料に適した加工法について理解できるように工夫されています。

90ページをご覧ください。90ページから104ページにありますように、生物を人間の生活に役立つよう育てるためには、生物が育つ環境を調節する技術や成長を管理する技術など、技術の見方、考え方を働かせながら、生物育成の技術を活用して考えさせる工夫がされているというような点を評価しております。

次に、資料3の専門調査会調査結果の53ページをご覧ください。開隆堂の大きな特徴は2の5で

ございまして、教科書の16ページ、17ページにあるように、ガイダンス及び各單元にも持続可能な社会の実現に向けて、図を多く用いて視覚的にも分かりやすく工夫されているという点で優れていると評価しております。

91ページをご覧ください。91ページにあるように、持続可能な社会を目指した問題点の解決の視点や技術の評価、活用の流れなど、持続可能な社会を目指すためにも、これまでの学習を踏まえて、様々な条件を考慮しながら、工夫を行い、最適な答えを導き出せるような工夫がされている点で優れていると評価しています。

両者の評価で違いが見られるのは2の2でございまして、東京書籍が20ページから21ページ、身近な例として教室にある机などを提示し、材料の特性や加工する技術について詳細な説明がなされていて、学習意欲の向上に対する工夫が見られるのに対して、開隆堂では、24ページをご覧くださいなのですが、金ザルの例にあるように設問の内容が難解で、生徒がイメージを持ちにくく、学習意欲の向上に対する工夫を必要とされております。

以上のことから東京書籍を特に優位性のある発行者としたところでございます。

私からの説明は以上です。

【部会長】

ありがとうございました。

ただいまの説明に対しまして、ご意見ご質問はございますでしょうか。よろしいでしょうか。

(委員全員うなづく)

ないようですので、技術につきましては、東京書籍と開隆堂で優位性のある2者といたします。それでは、家庭科について事務局よりお願いいたします。

【代表調査員】

失礼します。家庭科の専門調査会の代表調査員を務めます築港中学校長、西本でございます。

まず、資料2、調査の観点の16ページをご覧ください。家庭の重点化した観点は番号に丸をした5点でございます。

次に、資料3、専門調査会結果の54ページをご覧ください。家庭の発行者は3者でございます。それでは、資料に沿って順にご報告いたします。

まず、東京書籍の調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は1の3、2の2、2の3、2の5、3の6の5点、特に工夫・配慮を要する点はございませんでした。なお、東京書籍は今後デジタル教科書を発行する予定でございます。

2つ目は、教育図書の結果でございますが、総評欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は1の3、2の3、2の5の3点、特に工夫・配慮を要する点は2点といたしました。なお、教育図書は今後デジタル教科書を発行する予定でございます。

3つ目は、開隆堂の結果でございますが、総評欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は1の3、2の2、2の3、3の6の4点、特に工夫・配慮を要する点は2の5の1点といたしました。なお、開隆堂は今後デジタル教科書を発行する予定でございます。本市で現在使用されている発行者は開隆堂でございます。

以上のことから、専門調査会としては優位性がある2者は特に優れている点が5点の東京書籍と4点の開隆堂であり、そのうち特に優位性があるのは東京書籍という結果になりました。

また、教育図書と開隆堂の評価の、特に優れている点の総計は6点ずつと近接しておりますが、開隆堂は多様な職種で働いている人へのインタビューを掲載し、勤労観や職業観を育む工夫がされてい

る点を特に評価し、優位性のあるのは開隆堂という結果となりました。

次に、資料4、学校調査会集約結果の14ページ、家庭科をお開きください。下から4行目の重点化した観点計でございますが、東京書籍は特に優れている点が37点、特に工夫・配慮を要する点が2点となっております。同様に教育図書は30点と3点となっており、開隆堂は特に優れている点が36点、特に工夫・配慮を要する点が3点となっております。

以上のことから、学校調査会としては優位性のある2者は東京書籍と開隆堂であり、そのうち特に優位性があるのは東京書籍という結果となっております。

両調査会の調査結果は一致しております。

【部会長】

ありがとうございました。

それでは、優位性のある2者についてご審議したいと思えます。学校調査会につきましては東書と開隆堂を優位性の2者としており、専門調査会の調査結果と一致しているということでした。この2者を優位性のある2者であるとするということについてご意見、ご質問はございますでしょうか。

よろしいでしょうか。それでは、優位性のある2者の審議については以上とさせていただきます。

続きまして2者の内容について審議に移ります。よろしく願いいたします。

【代表調査員】

それでは、資料3、専門調査会調査結果の54ページをご覧ください。総評欄でございますが、東京書籍の大きな特徴は2の2でございます。詳細な図や分かりやすい写真などを用い、生活の自立に必要な基礎的な知識を的確に押さえることができる工夫がされているという点で優れていると評価しております。

教科書の51ページをご覧ください。51ページでは食中毒予防や細菌の増殖についての理由を言葉と共にイラストで提示し、生徒に基礎的な知識が定着するよう工夫が見られます。

また、54ページをご覧ください。54ページでは、まな板の汚れの変化を様々な条件下で比較した写真や手洗い前後の菌のつき方の変化を写真で示し、生活と科学的な事象を結びつけて理解できるよう工夫されるなど、学習した内容が現在の生活から将来にわたってつながる内容となっております。

次に、専門調査会調査結果の56ページをご覧ください。開隆堂の大きな特徴は1の3でございます。各章の最後に生活に生かそうのページがあり、学習したことから課題を設定し、主体的に新しい課題に取り組むことができるよう工夫されている点で優れていると評価しております。

両者の評価で違いが見られるのは2の5でございます。東京書籍の47ページをご覧ください。47ページにあるように、生徒が実際の食品をイメージしやすい表示例を示したり、QRコードで情報を読み取る例を示したりしております。また、150ページをご覧ください。150ページにあるように、リフォームの具体例を実物写真を用いて示しているのに対し、開隆堂ではそのような工夫はなく、実際の生活を想起させるための学習に工夫が必要とされております。

以上のことから、東京書籍を特に優位性のある発行者としたところでございます。

私からの説明は以上です。

【部会長】

ありがとうございました。

ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございますでしょうか。

【委員】

失礼します。学校調査会のほうではそんなに大きな差異はないかなと思うのですが、現在、使って

いるほうが開隆堂である中で、より優位であるのが東書というふうになってきたということは、何かもっと大きなポイントというのはあるのでしょうか。

【代表調査員】

家庭科も技術も同じなんですけども、実技を伴う教科としましては、子どもがその教科を学ぶことによって、将来、その学んだことをどう生かしていくのかということが非常に重要だというように考えております。そういった点で、それぞれの観点で話し合った結果、東京書籍のほうが子どもたちが将来生活をしていく上で、優位性が高いというふうに判断しております。

【部会長】

ありがとうございました。

ほかにご意見がございましたら、よろしく願いいたします。

【委員】

東書についてですが、技術と家庭と同じで、報告書にも下のほうにあるんですけども、パラパラ漫画が少し入っているんです。こちらに書かれているのは生徒の集中力を低下させる懸念があり、工夫を要するという事なんですけど、このパラパラの絵というのは何かこの家庭とか技術に関連性というのがあるのか、それともないのかいうところがあります。家庭科のほうでは料理のパラパラ漫画が入っているんですが、そういった関連性があるのであって、何か子どもたちの学習に対して意図があるのであればいいのかなと思うんですけど、あまりそういった考えがないのであればパラパラの絵がないほうがいいのかという気がしました。

【部会長】

ありがとうございました。これの関連性というのとは何かあるんですか。

【代表調査員】

特に、話し合う中では、その関連性を考えられなかったんです。それが正直なところなんです。

【部会長】

ありがとうございました。そういうところもあって、特に工夫・配慮を要する点の3その他の4の観点としての評価ということでしょうか。

【代表調査員】

はい。

【山野部会長】

ありがとうございます。

ほかになにかございますでしょうか。よろしいでしょうか。

(委員全員うなづく)

では、家庭科につきまして、東京書籍と開隆堂を優位性のある2者としたいと思います。それでは、英語の審議に移りたいと思います。事務局からよろしく願いいたします。

【代表調査員】

失礼いたします。英語専門調査会、代表調査員を務めます新北野中学校教頭の岡野功でございます。どうぞよろしく願いいたします。

まず、資料2、調査の観点17ページをご覧ください。英語の重点化した観点は番号に丸をした5点でございます。

次に、資料3の57ページ、専門調査会調査結果をご覧ください。

それでは、資料に沿って順にご報告いたします。

まず、東京書籍ニューホライズンの調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は1の3、2の2、2の3、2の5、3の6の5点、特に工夫・配慮を要する点は0点といたしました。なお、東京書籍は今後デジタル教科書を発行する予定がございます。また、東京書籍は本市で現在使用している発行者でございます。

次に開隆堂サンシャインの調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は1の3、2の2、2の3の3点、特に工夫・配慮を要する点は2の5、3の6の2点としました。なお、開隆堂は今後デジタル教科書を発行する予定がございます。

3番目、三省堂ニュークラウンの調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は1の3、2の2、2の3、2の5、3の6の5点、特に工夫・配慮を要する点は0点といたしました。なお、三省堂は今後デジタル教科書を発行する予定がございます。

4番目、教育出版ワンワールドの調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は0点、特に工夫・配慮を要する点は1の3、2の2、2の3、2の5、3の6の5点といたしました。なお、教育出版は今後デジタル教科書を発行する予定がございます。

5番目、光村図書ヒアウィーゴの調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は1の3、2の2、2の5の3点、特に工夫・配慮を要する点は2の3、3の6の2点といたしました。なお、光村図書は今後デジタル教科書を発行する予定がございます。

最後に啓林館ブルスカイの調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は1の3、2の2、2の3、2の5の4点、特に工夫・配慮を要する点は3の6の1点といたしました。なお、啓林館は今後デジタル教科書を発行する予定がございます。

以上のことから、専門調査会としては優位性がある2者は特に優れている点が5点の東京書籍ニューホライズンと5点の三省堂ニュークラウンであり、そのうち特に優位性があるのは東京書籍ニューホライズンという結果となりました。

なお、専門調査会の調査結果全体から東京書籍の特に優れている観点が6点、特に工夫・配慮を要する点が1点に対し、三省堂の特に優れている観点が5点、特に工夫・配慮を要する点は2点であることから、東京書籍ニューホライズンに優位性があるという結果になりました。

次に、資料4の15ページ、学校調査会集計結果の英語をお開きください。下から4行目の重点化した観点計でございますが、東京書籍は特に優れている点が48点、特に工夫・配慮を要する点が6点となっております。同様に開隆堂は特に優れている点が18点、特に工夫・配慮を要する点が13点、三省堂は特に優れている点が40点、特に工夫・配慮を要する点が9点、教育出版は特に優れている点が19点、特に工夫・配慮を要する点が18点、光村図書は特に優れている点が30点、特に工夫・配慮を要する点が8点、最後に啓林館は特に優れている点が21点、特に工夫・配慮を要する点が9点となっております。

以上のことから、学校調査会としては優位性がある2者は東京書籍と三省堂であり、そのうち特に優位性があるのは東京書籍という結果となっております。

両調査会は東京書籍ニューホライズンに優位性がある調査結果となっております。

以上、発行者ごとの優位性についてご説明申し上げます。

【部会長】

ありがとうございました。

ただいまの報告では、専門調査会と学校調査会ともに一致した結果となっており、優位性のある2者は、東京書籍と三省堂であるとのことでございますが、これにつきましてご意見、ご質問はござい

ますでしょうか。

よろしいでしょうか。それでは、優位性のある2者とされた東京書籍と三省堂の2者についての内容の説明をお願いしたいと思います。

【代表調査員】

それでは、資料3の57ページ、東京書籍ニューホライズンをご覧ください。総評欄でございますが、東京書籍の大きな特徴は1の3でございます。各学年の巻末に「CAN-DOリスト」を用いることにより、4技能の定着、確認ができるという点で優れていると評価しております。各学年、どこの学年でも構いませんので、巻末をお開きください。巻末一番最後のページとなっております。「学習を振り返ろうCAN-DOリスト」ということで、例えば、3年生の教科書を開いておりましたが、1年生、2年生、それぞれの学年末を振り返り、中学校3年生の目標、3年間の目標ということ書かれてあります。同様に2年生を開いていただいても、1年生と3年生、1年生の教科書にも1年生の学年末、2年生、3年生というふうに、3年間を通してこの教科書を使うことにより、学習を常に振り返ることができる、どの学年でも振り返ることができるというふうになっております。

資料3の59ページをご覧ください。三省堂の大きな特徴は2の3でございます。文法事項や語彙を深めることができるという点で優れていると評価しております。顕著な例が3年生、98ページからをご覧ください。テークアクションというのがございまして、スピーチ、あなたは思うという展開でゲットプラスというのがございまして、最後にワードバンクというふうに教科書の、三省堂はレッスンというんですが、レッスンが終わってもこういうふうに振り返ることが多種多彩な活動により振り返ることができるというところが三省堂の大きな特徴になっているのではないかなと思います。

そこで、両者の評価の違いで顕著なのは1の4でございます。三省堂の内容が今申し上げましたように、多種多様ですけども、それに比例しまして、生徒の学習負担が多くなるのに対し、東京書籍は扱いやすく、生徒にとって適度な学習量であると評価しました。

分かりやすい例が、3年生の教科書の最後に読み物が2つ、どちらの教科書もついてございます。ニューホライズンでいいますと、106ページでレッツリード2というのと、110ページでレッツリード3というスティーブ・ジョブズについての話がございまして、ニュークラウンも最後に同じように総仕上げとして読み物がついております。ニュークラウンはリーディングファンというタイトルですが、122ページからついております。リーディングファン2と3です。見比べていただいたら分かりますが、教科書の大きさも調査会の話題になってございまして、東京書籍が唯一A4サイズで、そのほかの教科書はABサイズというのを使っているのですが、教科書が大きな分、字の大きさが変わらないんですが、情報量が見ていただいたら分かるように、写真とか絵とかがふんだんに使われてまして、東京書籍の最後の110ページ、レッツリード3にもスティーブ・ジョブズの写真が載っていたり、生徒にとって身近な話題というところで、東京書籍ニューホライズンが優位のある発行社としたところがございます。

私からの説明は以上です。ありがとうございました。

【部会長】

ありがとうございました。

ただいまの説明に対しまして、ご意見ご質問がございましたらよろしくお願いたします。よろしいでしょうか。

(委員全員うなづく)

それでは、英語につきましては東京書籍と三省堂を優位性のある2者であると確認したということで進めさせていただきたいと思っております。

それでは、道徳のほうに移りたいと思っております。事務局からよろしくお願いいたします。

【代表調査員】

失礼いたします。道徳の専門調査会の代表調査員を務めます港南中学校の田中紹亮です。どうぞよろしくお願いいたします。

まず、資料2の18ページをご覧ください。道徳の重点化した観点は番号に丸をした5点でございます。

次に、資料3の63ページの専門調査会の調査結果をご覧ください。道徳の発行者は7者でございます。

それでは、資料に沿って順にご報告をいたします。

まず、東京書籍の調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は1の3、1の5の2点、特に工夫・配慮を要する点は1の4、2の1、3の5の3点といたしました。なお、東京書籍は今後デジタル教科書を発行する予定でございます。

教育出版の調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は1の4、1の5、2の1の3点、特に工夫・配慮を要する点は1の3、3の5の2点といたしました。なお、教育出版は今後デジタル教科書を発行する予定でございます。

光村図書の調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は1の3、1の4、2の1の3点、特に工夫・配慮を要する点は1の5、3の5の2点といたしました。なお、光村図書は今後デジタル教科書を発行する予定でございます。

日本文教出版の調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は1の4、1の5、2の1、3の5の4点、特に工夫・配慮を要する点は1の3の1点といたしました。なお、日本文教出版は今後デジタル教科書を発行する予定でございます。

学研教育の調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は1の4、1の5の2点、特に工夫・配慮を要する点は1の3、2の1、3の5の3点といたしました。なお、学研教育は今後デジタル教科書を発行する予定でございます。

あかつきの調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は1の3、1の4、1の5、2の1、3の5の5点、特に工夫・配慮を要する点は0点といたしました。なお、本市で現在使用している発行者でございます。なお、あかつきは今後デジタル教科書を発行する予定でございます。

日本教科書の調査結果でございますが、総評欄の重点化した観点5点のうち、特に優れている点は1の3、1の5の2点、特に工夫・配慮を要する点は1の4、2の1、3の5の3点といたしました。なお、日本教科書は今後デジタル教科書を発行する予定でございます。

以上のことから、専門調査会としては優位性がある2者は特に優れている点が5点のあかつきと4点の日本文教出版であり、そのうち特に優位性があるのはあかつきという結果となりました。

次に、資料4の16ページの学校調査会集計結果の道徳をお開きください。下の4行目の重点化した観点計でございますが、東京書籍は特に優れている点が32点、特に工夫・配慮を要する点が5点となっております。同様に教育出版が33点と5点となっております。同様に光村図書は26点と13点となっております。同様に日本文教出版は35点と6点となっております。同様に学研教育は27点と8点となっております。同様にあかつきは40点と12点となっております。同様に日本教科

書は21点と12点となっております。

以上のことから、学校調査会としては優位性がある2者はあかつきと日本文教出版であり、そのうち特に優位性があるのはあかつきという結果となっております。

両調査会の調査結果は、特に優位性があるのはあかつきで一致しており、優位性があるものも日本文教出版で一致しております。

以上、発行者ごとの優位性についてご説明申し上げます。

【部会長】

ありがとうございました。

それでは、優位性のある2者について審議したいと思います。専門調査会のご報告では、あかつきと日本文教出版でございます。

【委員】

この学校調査会のほうでは、結構、あかつきのほうも工夫・配慮を要するところにポイントが多かったと思います。専門調査会では特になしというようなことですが、専門調査会の調査の中で特に議論はなかったのでしょうか。

【代表調査員】

あかつきの資料につきましては、どの学年、どの教材見てもらっても結構かと思うんですけども、全ての教材のわりには学習の手がかりとかものの考え方とか同じような形で全て記載がされております。そういった部分で、教科書を非常に扱いやすいというのが大きな点で、特に今申し上げましたように、あかつきが使用しやすいという観点から特に何かという形は出ませんでした。

以上です。

【部会長】

ありがとうございました。それでは、他にご意見ご質問はございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、優位性のある2者としては日文とあかつきということで、この後に内容についての説明をしていただきたいと思います。

教科書のどのページの説明かを示していただきながら説明をお願いいたします。

【代表調査員】

それでは、まず、あかつきのほうの1年生の14ページと日本文教出版の1年生の170ページを開いていただけたらと思います。よろしいでしょうか。

それでは、資料3の68ページをご覧ください。総評欄でございますが、あかつきの大きな特徴は1の3でございます。主体的に対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に資するよう配慮されているかという点で優れていると評価しております。

今、1年生の14ページを見ていただいていますように、それぞれその教材の発問、子どもたちに聞きたい内容というのがそこに記載がされてあると思います。先ほど、申し上げましたように、どの資料も同じ形で発問、また学習の手がかりとか、工夫とか、そういった形が書かれているというところをまず確認をしていただけたらと思います。その教材について考える問い、また自己に照らして考える問いについて学んだ内容を一層広げられるように配慮はされています。さらに、考えを広げる、深めるが示されていて、自己の生き方についての考えをより深められるように工夫がされています。そして、どの教材も同じ点で問いが用意されているという点です。

資料3の66ページをご覧くださいまして、日本文教出版の大きな特徴でございますけれども、1

の4ということで、生徒の発達段階や特徴性を踏まえつつ、論理的思考力、判断力、豊かな表現力等を育成するよう配慮されているかという点で優れていると評価をしております。

この1年生の170ページを見ていただきますと、学習を深めるヒントによりまして、発達段階を踏まえた内容になっております。そういった点が優れているというように評価をしております。

両者の評価で違いが見られるのは1の3でございまして、あかつきが広げる、深める発問の工夫があり、自己の生き方についての考えをより深められるよう工夫されていますのに対しまして、日本文教出版では生徒が考え、話し合うための視点が参考として示されていますけれども、考え、話し合うための視点が少なく、授業展開において工夫を要するというふうに考えております。

以上のことから、あかつきを特に優位性のある発行者としたところでございます。

私の説明は以上です。

【部会長】

ありがとうございました。

ただいまの説明につきまして、なにかご意見ご質問はございますでしょうか。

【委員】

道徳ノートというのがあかつきと日本文教出版でそれぞれあるのですが、中身を少しだけ確認しただけですが、随分違う印象があるんですけれども、その使い方についてはどんなふうに評価しておられるのでしょうか。というか、私はこういうふうな使い方があってもいいのでは、というような意見がもしあれば教えていただきたい。

【代表調査員】

日本文教出版につきましては、教材を振り返れるような一つ一つの項目になっているかと思えます。授業の中で、記入していくというような時間で使う形になっております。ですから、書く量が結構ありますから、50分の授業の中でそれを書き詰めていくと、心の中で対話をしたりとか、いろんな工夫する時間というのは少し少なくなります。まとめる上ではそういったものを活用するのはできると、こういうノートになっております。

あかつきのほうは、申し上げましたように、一項目ずつのものになっておりません。内容項目ごとに、内容を振り返るための1つの教材、資料を提示して、さらに深めていくような内容になっております。

ただ、これを授業中に使うとなると、なかなか使えないんですけれども、夏休みの宿題とか、あるいは各自が学習したものでノートを出すとか、そういう形の使い方と振り返るという形で使っているのがあかつきのノートの使い方でございます。以上です。

【部会長】

ちなみに、それは20ある観点でいうと、そのノートの活用についての評価についてはどの観点に対応する話になるのでしょうか。

資料をまとめるに当たって、今おっしゃっていただいた内容をどこかの観点に反映した形でまとめる必要があると思いますので、次回までにどの観点になるかということを確認にした上で、あらためてその内容としてご報告いただいでよろしいでしょうか。

【代表調査員】

ノートの使い方がどの観点でという形で提示をするわけですね。分かりました。

【部会長】

ほかにご質問、ご意見はございますでしょうか。よろしゅうございますか。

(委員全員うなずく)

それでは、ただいまのご意見をもらいましたその分も含めまして、第3回選定委員会に資料を整理していただければと思っております。ありがとうございます。道德につきまして、以上となります。

それでは、16種目全部終わりました。この後、休憩の後に咲くやこの花中学校の審議に入らせていただきます。現在、4時55分でございますので、5時05分より始めさせていただきますと思います。

(休憩)

【部会長】

それでは審議を再開したいと思います。咲くやこの花の審議につきまして、16種目すべてを一括して説明いただきますので、ご容赦いただければと思います。

それでは、よろしくお願いいたします。

【代表調査員】

失礼いたします。咲くやこの花中学校の学校調査会代表調査員を務めております、校長の角です。どうぞよろしくお願いいたします。

本校は、併設型中高一貫教育校であり、ものづくり、スポーツ、言語、芸術など、早くから興味関心が現れやすい分野の才能を伸ばすことを目標とし、特色ある教育内容を展開しております。

その特色や独自性を踏まえる必要があるため、前回の部会で調査の観点の重点化については、本校の学校調査会に委ねることを議決いただきました。ありがとうございます。

これを受けまして、学校調査会では専門的な立場からの調査研究も含めて実施した結果、お手元の資料のとおり、調査結果を報告する次第でございます。

それでは、これから、各種目の報告に移らせていただきます。

まず、資料2の3ページをご覧ください。よろしいでしょうか。本校では独自に項目1の4を全種目共通、3の6を技術科を除く全種目で重点化した観点としております。観点1の4の点でございますが、第1採択地区の他校とは異なるんですけれども、これは本校が従来より、主体的・対話的で深い学びの実現に向けまして、様々な授業研究を行ってきた結果、いかなる教科書においてもその目的が一定達成できるであろうという本校の特色を考慮したことによるものでございます。

そのほかの重点化した観点につきましては、種目ごとの特性に応じて設定をしております。国語では1の3、2の3としております。

それでは、資料7の学校調査会調査結果をご覧ください。時間に都合上、優位性がある2者のみについて申し上げます。

まず、資料7の2ページをご覧ください。三省堂が特に優れている点が2点であり、次に4ページにまいりまして、光村図書が3点でございます。そのうち特に優位性があるのは光村図書ということになりました。

光村の特に優れている点において、学習内容や過程を振り返られる場面や各所にQRコードが配置されているなど、学んだことを生活に生かしたりすることができる工夫がなされていることを評価いたしました。

以上が、国語の調査結果でございます。

続きまして、書写に移ってまいります。まず、資料2の4ページをご覧ください。書写で独自に重点化した観点は2の2、2の3でございます。

この種目につきましても、優位性がある2者のみ申し上げます。

まず、資料7の6ページをご覧ください。三省堂が重点化した観点4点のうち、特に優れている点が2点であり、次に7ページにまいりまして、教育出版が3点でございました。そのうち特に優位性があるのは教育出版ということになりました。

教育出版の特に優れている点において、筆圧に及んで詳しく説明がなされており、生徒の発達の段階や特性を踏まえて指導することができるような工夫が見られるというふうな、その点を特に評価をさせていただきます。

以上が、書写の調査結果でございます。

次に、地理的分野に移ってまいります。資料2の5ページをご覧ください。地理で独自に重点化した観点は2の2、2の3、2の6でございます。

それでは、この種目につきましても、優位性がある2者のみについて申し上げます。

まず、資料7の9ページをご覧ください。東京書籍が重点化した観点5点のうち、特に優れている点が3点であり、次に11ページにまいりまして、帝国書院がこの点について4点でございます。ということでございますので、特に優位性があるのは帝国書院ということになりました。

帝国書院の特に優れている点におきまして、技能を磨くコーナーの設置や未来に向けてというコラムが随所に配置され、これから日本や世界の地域に関わる諸事情について主体的に探究しようとする態度を養う工夫がなされている部分を特に評価いたしました。

以上が地理的分野の調査結果でございます。

続きまして、歴史的分野でございます。資料2の6ページをご覧ください。歴史で独自に重点化した観点は2の2、2の3、2の6でございます。

この種目につきましても優位性がある2者のみ申し上げます。

まず、資料7の15ページをご覧ください。帝国書院が重点化した観点5点のうち、特に優れている点が4点あります。次に17ページにまいりまして、日本文教出版は5点でございます。よって、特に優位性があるのは日本文教出版ということになりました。

その理由は、日本文教出版の特に優れている点において、ページ数が他者と比較すると多く、テーマ別索引や歴史を事象として学ぶだけではなく未来へどのように生かすのか、主体的に学習する項目が豊富であります。これらの工夫から生徒の発達の段階や特性を踏まえつつ、論理的思考力、判断力、豊かな表現力が身につくことが期待でき、その点を特に評価いたしました。

以上が、歴史的分野の調査結果でございます。

次に、公民的分野でございます。資料2の7ページをご覧ください。公民で独自に重点化した観点は2の2、2の6でございます。

それでは、この種目につきましても優位性のある2者のみ申し上げます。

まず、資料7の20ページをご覧ください。東京書籍が重点化した観点4点のうち、特に優れている点が3点です。次に22ページにまいりまして、帝国書院が2点でございます。よって、特に優位性があるのは東京書籍ということになりました。

その理由なんですけれども、東京書籍の特に優れている点におきまして、個人の尊厳と人権の尊重の意義を広い視野から正しく認識ができるような工夫が随所に見られ、個人と社会との関わりについての理解が深められるような配慮がなされている点を評価いたしました。

以上が、公民的分野の調査結果でございます。

続きまして、地図について述べます。まず、資料2の8ページをご覧ください。地図でございますが、独自に重点化した観点は2の1、2の3、2の4でございます。

この種目につきましては2者のみの調査となります。

まず、資料7の26ページをご覧ください。東京書籍が重点化した観点5点のうち、特に優れている点が2点です。次に27ページにまいりまして、帝国書院は4点でございます。特に優位性があるのは帝国書院ということになりました。

その理由なんですけれども、帝国書院の特に優れている点において、地図活用が94か所に配置されている、また社会的な見方、考え方を働かせて、主体的に学べる構成となっている点、地図だけではなく生活の様子や宗教、言語についての資料や写真が豊富に掲載されているというふうな点が学習が展開しやすいというところで評価をさせていただいております。

以上が、地図の調査結果でございます。

次に、数学についてご説明します。資料2の9ページをご覧ください。数学ですけれども、独自に重点化した観点は2の4、2の6でございます。

この種目についても優位性のある2者のみ申し上げます。

資料7の32ページをご覧ください。重点化した観点4点のうち、啓林館が特に優れている点が3点、そして、次に33ページなんですけれども、数研出版が4点でございます。優位性があるのは数研出版ということになりました。

数研出版の特に優れている点におきまして、各章の章末に確認問題、問題A、問題B等、難易度ごとに問題が配置されており、自分の学力を客観的に見ることができるよう工夫や巻末の数学旅行、また別冊探求ノートで数学を実生活に生かすようなことができるというふうな工夫がある点を特に評価いたしました。

以上が、数学の調査結果でございます。

続いて、理科です。まず、資料2の10ページをご覧ください。理科でございますけれども、独自に重点化した観点は2の1、2の5でございます。

それでは、この種目につきましても優位性がある2者のみ申し上げます。

まず35ページをご覧ください。重点化した観点4点のうち、東京書籍が特に優れている点が2点、次に39ページにまいりまして、啓林館が3点でございます。よって、特に優位性があるのは啓林館ということになりました。

啓林館につきましては、特に優れている点のうち、生活に身近な話題を多数紹介するような工夫がなされている点を特に評価しています。このことで自然科学が実生活とどのように結びついているのか理解が深まる、自然の事物であったり現象を科学的に探究するために必要な資質や能力の育成につながるというふうに考えております。

以上が、理科の調査結果でございます。

次に、音楽一般の説明をいたします。資料2の11ページをご覧ください。音楽一般でございますが、独自に重点化した観点は2の2、2の4でございます。

この種目につきましては、調査を行ったのが2者のみです。

まず、資料7の40ページをご覧ください。重点化した観点4点のうち、教育出版が特に優れている点が2点、そして、次に41ページにまいりまして、教育芸術社が4点でございます。特に優位性があるのは教育芸術社ということになりました。

教育芸術社につきましては、特に優れている点のうち、鑑賞教材でどの楽器が演奏されているか、

イラストが掲載されてあったり、また色分けされている等、生徒が分かりやすい工夫がなされている点を特に評価をしています。

以上が、音楽一般の調査結果でございます。

次に、音楽器楽の説明をいたします。資料2の12ページをご覧ください。器楽でございますが、独自に重点化した観点は2の1、2の4、2の6でございます。

この種目につきましても、調査を行ったのは2者のみです。

まず、資料7の42ページをご覧いただきたいのですが、重点化した観点5点のうち、教育出版が特に優れている点が2点、そして、続きまして、43ページにまいりまして、教育芸術社が5点でございます。そのうち特に優位性があるのは教育芸術社ということになりました。

その理由はと申しますと、総評におきまして、特に優れている点の生活や社会の中の音楽について考える教材が幅広く取り入れるなど、音楽を愛好する心情を育み、感性豊かにし、音楽に親しむ態度を養うと共に、豊かな情操を培う内容になっているということを重視しました。

以上が、音楽器楽の調査結果でございます。

次に美術です。資料2の13ページをご覧ください。美術でございますが、独自に重点化した観点は2の3、2の5でございます。

この種目につきましても、優位性がある2者のみ申し上げます。

まず、資料7の45ページをご覧いただきたいのですが、重点化した観点4点のうち、光村図書が特に優れている点は3点、次に46ページにまいりまして、日本文教出版も3点でございますが、重点化した観点以外の観点では、特に優れている点について光村が4点、日本文教出版が0点となります。ということで、その優位性があるのが光村図書ということになりました。

光村図書につきましては、特に優れている点において、各項目において鑑賞と表現が分けてレイアウトされており、何をどのように学ぶかが明確に記載されているなど、見やすく主体的に造形活動に取り組みやすいような工夫がなされている点を特に評価をさせていただいております。

以上が、美術の調査結果でございます。

続きまして、保健体育についてご説明します。資料1の14ページをご覧ください。保健体育でございますが、独自に重点化した観点は2の3、2の4でございます。

この種目についても優位性がある2者のみ申し上げます。

まず、49ページをご覧いただきたいのですが、重点化した観点4点のうち、大修館が特に優れている点が3点でございます。次に、50ページにまいりまして、学研教育が4点でございます、特に優位性があるのは学研教育ということになりました。

学研教育につきましては、特に優れている点において、単元の末にまとめる、深めるが設けられています。章末には探求シートを章のまとめが設けられていることにより、学習したことを活用し、生活の中でどのように実践していくかを考え、生涯にわたり、運動に親しみ、健康の保持・増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養うことができるような工夫がされている点を特に評価いたしました。

以上、保健体育の調査結果でございます。

続いて、技術です。まず、資料2の15ページをご覧ください。技術でございますが、独自に重点化した観点は2の5、2の6、3の5でございます。

技術科での学習は特に生活や他の教科と関わる部分が大きいため、ほかの種目の3の6と異なり、3の5を重点化した観点としております。

それでは、この種目につきましても優位性がある2者のみ申し上げます。

まず、資料7の51ページをご覧いただきたいのですが、重点化した観点4点のうち、東京書籍が特に優れている点が4点、次に53ページにまいりまして、開隆堂が2点でございまして、優位性があるのは東京書籍ということになりました。

東京書籍につきましては、特に優れている点において生活に密着している内容を含み、復習するときに学んだことを確認できる内容になっている点、そして生活や社会の中の問題を解決するための基礎的な力を養い、身につけることができる工夫がなされている点を特に評価しました。

以上が、技術の調査結果でございます。

次に、家庭です。まず、資料2の16ページをご覧ください。家庭でございまして、独自に重点化した観点は2の2、2の3、2の5でございます。

この種目についても優位性のある2者のみ申し上げます。

資料7の54ページをご覧いただきたいのですが、重点化した観点5点のうち、東京書籍が特に優れている点が4点、次に56ページにまいりまして、開隆堂が5点でございます。そのうち特に優位性があるのは開隆堂ということになりました。

その理由はと申しますと、特に優れている点において様々な章にわたって、SDGsについての記載がある、学習を通して持続可能な社会の実現を目指す意思が育成されているような工夫がある、中学生が地域で活動している写真、また多様性についての例が表記されており、家庭や地域との関わりが分かりやすく記載されている点を特に評価いたしました。

以上が、家庭の調査結果でございます。

続きまして、英語です。資料2の17ページをご覧ください。英語でございまして、独自に重点化した観点は2の2、2の3でございます。この種目につきましても優位性がある2者のみ申し上げます。

資料7の57ページをご覧いただきたいのですが、重点化した観点4点のうち、東京書籍が特に優れている点が3点、次に59ページにまいりまして、三省堂が4点でございます。特に優位性があるのは三省堂ということになりました。

その理由はと申しますと、三省堂の特に優れている点において、海外の生活や多言語、多文化の国々の題材を用い、異なる文化への理解が深められるような工夫がなされている点や学習した内容をさらに発展させたり、深めたりすることができる資料が豊富であり、学習意欲を引き出しながら指導することができるような工夫が多い点を特に評価いたしました。

以上が、英語の調査結果でございます。

最後に道徳です。資料2の18ページをご覧ください。道徳でございまして、独自に重点化した観点は2の1、2の7でございます。

それでは、この種目につきましても優位性がある2者のみ申し上げます。

まず、63ページをご覧いただきたいのですが、重点化した観点4点のうち、東京書籍が特に優れている点が3点、次に65ページにまいりまして、光村図書が4点でございまして、そのうち特に優位性があるのは光村図書ということになりました。

光村図書につきましては、特に優れている点において、生徒になじみのある作者や絵を使い、親しみやすく分かりやすいよう配慮されている点、また生徒が多様な考え方をもとに交流できるような内容になっている点を特に評価をさせていただいております。

以上が、道徳の調査結果でございます。

私からの説明は以上でございます。ありがとうございました。

【部会長】

ありがとうございました。

咲くやこの花中学校につきましては、他校と違いまして、特に調査会の結果を合わせることはしていないのですけれども、優位性のある2者につきましては、第1採択地区と異なる結果となったのは、書写と数学と保健体育と道徳の4種目、それ以外の種目につきましては変わらなかったという結果であります。

ご質問、ご意見がございましたら、よろしく願いいたします。

特によろしゅうございますでしょうか。

【委員】

現在、使われている教科書と大きく変わって選定されたというようなことはあるのでしょうか。

【代表調査員】

現在のものと大きく変わってということも、特にはないと思いますが、それぞれ調査をさせていただく中で、それぞれの教科書については今現在使っているものの、それぞれもちろんいいところもありますし、というふうなところですので、特に、だからといってというふうな形で、今回は今回でまっさらの目で見させていただいて、調査させていただいたというふうなことでございます。

【部会長】

ありがとうございます。次回の選定委員会では、他の26校の専門調査会と同じように、現在使用されている教科書と今回の調査で示された優位性のある2者について資料をご用意いただいて説明いただければと思います。ありがとうございました。

以上で第1採択地区26校の専門調査会・学校調査会の報告と咲くやこの花中学校の学校調査会の報告が終了いたしました。

全体を通して、なにかご意見ご質問はございますでしょうか。よろしいでしょうか。

(委員全員うなずく)

特にないようですので、事務局から何か事務連絡ございますか。

【事務局】

失礼いたします。長時間の審議ありがとうございました。

最後に事務連絡をさせていただきます。

まず1点目は、提出物についての連絡でございます。前回、選定委員の本市職員以外の皆様には、口座振替申出書、通帳の写し、マイナンバー提供用紙の提出をお願いしておりました。この後、集めに回らせていただきますので、提出の方、よろしく願いいたします。

また、事務局以外の本市職員の皆様、校長先生方も本日口座振替申出書と通帳の写しをご提出いただきますようお願いいたします。

なお、前回お配りいたしました交通費請求明細書のほうにつきましても、次回、最終の選定委員会時に提出のほうをよろしく願いいたします。

いずれにしましても、本日お持ちでない場合につきましては、次回、最終の選定委員会にて必ずご提出いただきますようお願いいたします。

本日の配付物に予備として改めて関係書類をお配りさせていただいておりますので、適宜ご活用ください。私のほうでまた口座振替申出書の予備の分もお持ちしておりますので、何かあればよろしくお願いいたします。

2点目は、次回の確認でございます。次回は来週7月28日火曜日午後1時から、場所は本日と同じく大阪市教育センターの第5研究室、こちらの部屋で行いますので、またよろしく願いいたします。

本日、未提出のものがありましたら、またご持参いただきますようお願いいたします。

最後に、本日、机上に準備させていただきました資料につきましては、お名前のシールが貼ってある封筒にそのままお入れおきください。次回に改めて配付させていただきます。

以上でございます。

【部会長】

ありがとうございました。

最後になりますが、終了予定時間を超えてしまい、申し訳ございませんでした。

次回は7月28日火曜日、午後1時より、本日と同じこの会場で開催することといたします。本日は長時間にわたり、誠にありがとうございました。